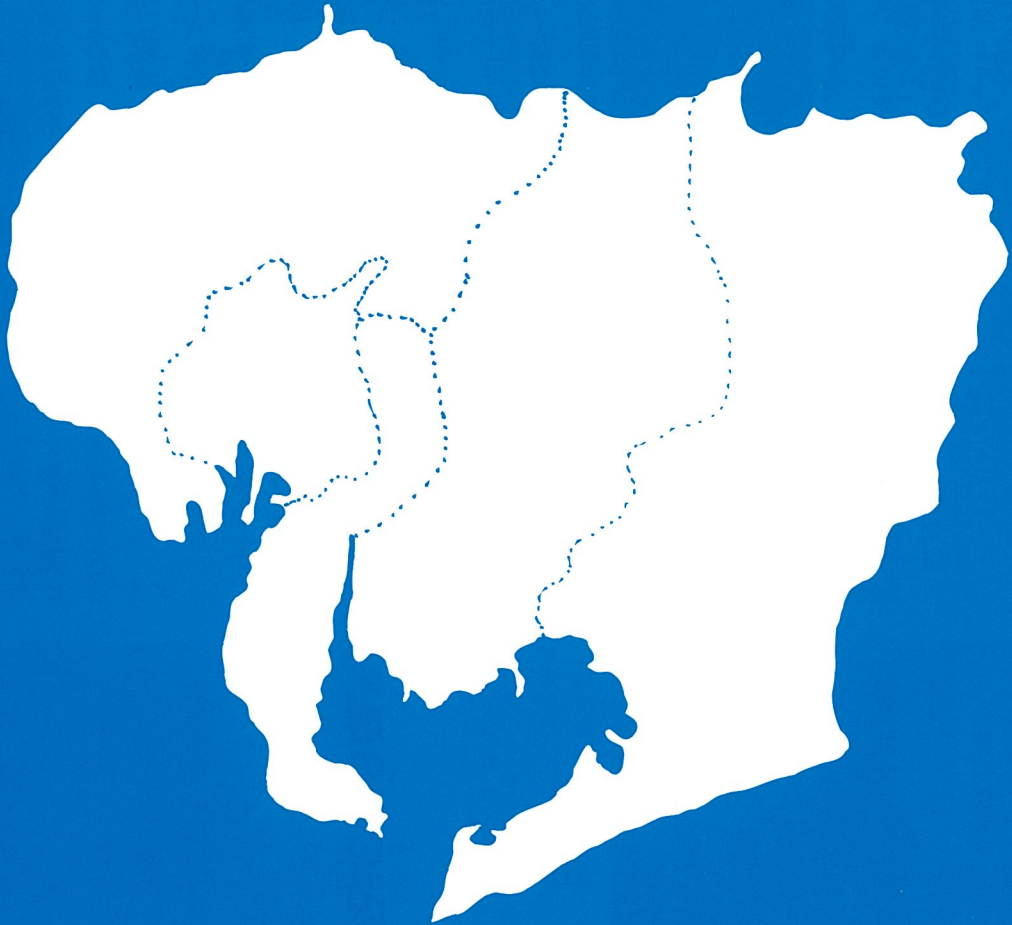


観の眼



— 目 次 —

巻頭言

トピックス①	第16回世界剣道選手権大会	… 1
トピックス②	第14回全日本選抜八段優勝大会	… 2
トピックス③	六団体剣道大会	… 4
トピックス④	東海四県対抗剣道大会	… 4
	東海四県対抗居合道大会	… 5
トピックス⑤	中高年剣道大会	… 6
特集①	理事長座談会	… 9
特集②	授業協力者育成講習会	… 15
居合道だより		… 19
	居合道指導者講習会に参加して	… 20
杖道だより		… 20
女子部だより		… 21

実業団だより	… 22
道場連盟だより	… 22
高体連だより	… 23
中体連だより	… 24
おめでとう	… 26
地区だより	… 28
審査料・登録料一覧	… 31
五地区剣道連盟所在地	… 32
訃報	… 32
愛知県剣道連盟ホームページ	… 33
平成28年度事業計画	… 34

第40号



一般財団法人

愛知県剣道連盟

愛知県剣道連盟会員各位におかれましては益々ご壮健のことと心よりお慶び申し上げます。

昨年、尾張剣道連盟会長、大脇正太郎先生ご逝去に際し急遽会長後任に不肖非才の私、内田武夫が拜命致す事に成りました。会員各位のご指導ご鞭撻を宜しくお願い致します。

この度平成二十八年年度『観の眼』発行に際して、「巻頭言」のご依頼を受け、浅学の私ですが一筆申し上げさせていただきます。

私事で恐縮ですが、私の剣

道人生は、高校時代は故前田治雄先生、実業団・大学時代は故近藤利雄先生、そして昭和四十八年に東海市より現在の弥富市に移住して故村瀬守男先生（尾張剣道連盟元副会長）と、素晴らしい恩師に恵

まれ、又諸先生のご指導を仰ぎ、今日に至っております。

全日本剣道連盟制定の「剣道の理念」「剣道修練の心構え」を基に、「剣道指導の心構え」の一節には、指導者は指導を受ける者とともに修練する、の意が示されております。また、これに通じた心境を、ある先生は出版されました本の中に「弟子も又、師の師なり」と記されております。私自身も尾張剣道連盟歴代会長が継続してこられた言語・「おかげさまで」をもつて感謝の気持ちを心に秘めて、会長の職務も各関係役員、



巻頭言「透明度の高い活動を」

一般財団法人 愛知県剣道連盟 副会長

内田 武夫

会員のご協力を賜り、透明度の高い尾張剣道連盟の発展に、尽力してまいりたいと存じます。

さて、昨年、尾張剣道連盟は、第十回尾張剣道祭を開催いたしました。この剣道祭には小・中学生三、五人制の団体戦に二二チームの参加がありましたが、その際の「ご挨拶」に、剣豪島田虎之助の古言「剣は心なり、心正しからざれば、剣また正しからず、剣を学ばんと欲すれば、まず心を学ぶべし」を引用させていただいて、「剣道

の特性を通じて、小中学生が一年、又一年と心身を鍛え年を重ねるごとに人として成長して行くことを願ってやみません。」と記させていただきました。

小・中学生の剣道大会の開催を通じて、各地区剣道連盟の活動が、小・中学生の健全育成に、少しでも力となれますことを願っております。

最後に、愛知県剣道連盟、尾張剣道連盟の役職を、力不足はいなめませんが各会員皆様のご支援を賜り、職責を全うすべく、誠心誠意尽くす所存でございます。何卒宜しくお願い申し上げます。

会員皆様のご多幸とご健勝を心より祈念申し上げます。

トピックス 1

第十六回世界剣道選手権大会審判員として

東 良美



去る、二〇一五年五月二十九日(金)から三十一日(日)まで、日本武道館において第十六回世界剣道選手権大会が開催されました。



本大会は、剣道の更なる発展と国際親善に寄与することを目的とし、日本での開催は、一九九七年京都大会以来四回目。日本武道館での開催は実に四十五年ぶりとなります。各国を代表する選手が五十六ヶ国より

出場し、互いに技を競い合うことにより、今や世界の愛好家は二〇〇万人を超え、剣道の普及には目を見張るものがあります。



私たち審判員は、本大会前二月二十八日(土)より三月一日(日)まで、全日本剣道連盟 張 富士夫会長を始め、FIK試合審判運営責任者 梯 正治範士、審判長 佐藤成明範士のもと、千葉県成田高校にて世界大会審判講習会に参加させて頂き、愛知県からは、大嶽将文理事長も参加されました。



講習会では、梯範士・佐藤範士より大変厳しいご指導を頂き、特に有効打突の見極めについては審判員も冷汗・脂汗をかきながら必死の思いで受講いたしました。その甲斐あって、自信を持って任務を全うするこ



とができました。

結果は、男女ともに個人戦・団体戦日本チーム優勝。大会三日間は日本武道館内が物凄い歓喜にあふれていました。

最後になりましたが、国際大会審判を終えて、通訳の重要性が今後の課題と痛感いたしました。

次回の第十七回世界剣道選手権大会は、二〇一八年韓国仁川市にて開催予定です。

ぜひ、愛知県の選手が日本代表選手として出場することを期待します。



トピックス 2

第14回全日本選抜 剣道八段優勝大会

三先生奮闘

一回戦を勝ち抜いたものの、惜しくも二回戦敗退



開会式の模様



松永政美全剣連副会長



富田孝夫愛剣連会長

全国から選抜された選手三十二名の八段剣士が参加し、高い水準の剣の技による格調あるという試合が展開された。

なかでも世界大会団体、個人優勝全日本選手権六回優勝と前人未到の戦歴を誇り、昨年の前回大会で三位に入賞した神奈川の宮崎正裕選手の戦いぶりが注目された。

準々決勝まで順調に勝ち上がり、準決勝で熊本の亀井 徹選手を下し、準決勝で静岡の小山正洋選手に延長の末勝利し、決勝戦へと勝ち進んだ。決勝戦の相手は、宮崎選手と同じく今回二回出場した香川の松本政司選手で、準々決勝で神奈川の笠村浩選手、準決勝で奈良の松田勇人選手をいづれも粘り強く戦って勝ち上がってきた。試合開始早々、宮崎選手が面に仕掛けてきたところを、見事な面であらえ先取した。しかし、



試合巧者の宮崎選手は、すかさず面を取り返し、続いて面を連取し逆転勝ちし、初優勝に輝いた。

◆愛知県勢の先生方◆

東 良美先生



山崎 尚先生



準決勝戦

(写真提供・全剣連)



松本八段×松田八段

大河内鉄彦先生

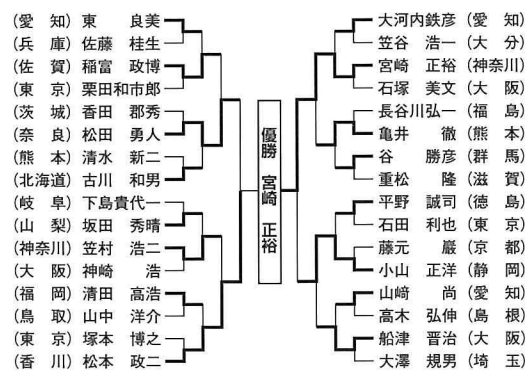


小山八段×宮崎八段



決勝戦 宮崎八段×松本八段 (写真提供・全剣連)

第14回全日本選抜剣道八段選手権大会結果



トピックス 3

第2回六団体対抗 剣道大会

大会委員長 白井 孝一



平成二十七年七月二十六日(日)に第二回六団体剣道大会が愛知県武道館にて行われた。この大会は約二〇年ぶりに第一回大会が昨年行われ、今回が復活二回目である。

警察、実業団、学生、教職員、官公庁、一般の六団体の総当たりリーグ戦により勝負を争う大会で、チーム構成は監督一名、選手一名で、女子二名、男子二〇代三名、同三〇代三名、同四〇代二名、同五〇代一名である(学生は大学一年〜四年で構成)。一般は他の団体に所属しない県内の五地区より年代別に選抜された選手で構成。

県武道館の第五競技場を三会場に分け、六団体が連続して五試合を行

う、厳しい条件であったにもかかわらず、試合内容はそれぞれの団体の代表する選手同士の対戦にふさわしく、見ごたえのある激しい攻防、充実した氣勢、正しい姿勢、的確な打突等が随所に見られ、格調高い、大いに盛り上がった大会であった。

試合結果

- 一位 警察
- 二位 官公庁
- 三位 実業団
- 四位 教職員
- 五位 学生
- 六位 一般

優秀選手

- 二十代 海野 祐介(官公庁)
- 三十代 日置 康紀(警察)
- 四十代 浜崎 高宜(教職員)
- 五十代 日置 介二(警察)
- 女子 迫 美樹(警察)
- 学生 河内 鴻佑(学生)

三連覇は途絶えた。三重県が二一〇で勝利し、三重県の優勝が決まった。

女子の雪辱を果たしたい男子は、立ち上がり先鋒が先取し好スタートを切るが、次鋒が返され、さらに八将、七将が連取され三一一でリードを許す展開となった。五将、四将が気を吐き連取して本数で逆転した。しかし、副将がまさかの再逆転を喫し大将戦となるが、大将が取って四一四の本数勝ちで、激戦を制した愛知が二連覇を決めた。



トピックス 4

東海四県対抗剣道大会

倉成 健治

平成二十八年三月六日(日)、東海四県対抗剣道大会が、愛知県名古屋枇杷島スポーツセンターで開催された。

女子は、今回から選手の年齢構成が若干変更になったが、人数の変更はなく五人戦だった。

地元開催となれば、昨年同様アベック優勝の期待がかかる。

第一試合は岐阜県と対戦。

女子は、先鋒吉本が前日東京で行われた全国実業団大会で二位躍進の原動力となり期待されたが、大会の疲労もあって、動きにやや精彩を欠き先取された。続く次鋒迫が果敢に攻めるも相手に粘られ引き分け。中堅野々山が取り返し追いついたが、副将安部が取られ、リードを許す。大将青山が果敢に攻め一本勝ちしてチームは二対二で引き分けた。

男子は、先鋒神田が引き分け、次鋒福岡が取り、十将野田も続いた。九将今泉が引き分け、八将森本も取り、七将曾根、八将高橋は手堅く引

今回の大会は、各県の實力は拮抗しており、どこも優勝のチャンスがある混沌とした状況の中、愛知県は十六年ぶりの優勝を果たすことができました。

振り返れば、私がこの東海四県大会に初めて出場したのは、愛知県が前回優勝した翌年からであり、静岡県その後の十五連勝を阻止するとともに初優勝を飾ることができました。

私は、何が何でも選手として出場し、優勝するのだとの思いで稽古に励み、師匠、県内の先生方の長年の指導のおかげをもちまして、今回このような機会を与えていただきました。

代表選手が発表された一月中旬からは、監督の瀧先生のご指導のもとに強化稽古が実施され、この大会を迎えることができました。

大会では大将として臨み、最終戦までもつれる展開の中で大激戦を制して勝利したことは、大きな経験と自信を得ることができました。

この名譽ある大会を運営くださった先生方、大会の出場機会を与えてくださった先生方に感謝申し上げます。すとともに、今後は連覇を目指し、より一層の技術向上に努めてまいります。



石田 耕一

東海四県対抗居合道大会

- 結果は、
- 女子 優勝 三重県、二位 愛知県
- 三位 岐阜県、四位 静岡県
- 男子 優勝 愛知県、二位 三重県
- 三位 静岡県、四位 岐阜県

平成二十八年三月六日、第四十六回東海四県対抗居合道大会が、愛知県名古屋枇杷島スポーツセンターにて開催されました。

第一試合の対岐阜戦は、中盤までのリードも終盤に逆転され、四対五で勝利を逃しました。

第二試合の静岡戦は、強豪相手にも臆することなく善戦し、六対三で勝利しました。

第三試合の三重戦は、静岡戦勝利の勢いで選手全員が気迫のある七試合展開を見せ、七対二で勝利しました。

き分けたが、五将関屋、四将阪野が連取され、傾きかけた流れを三将北原と副将中山が連勝し、チームの勝ちを決めた。大将倉成も続き、六対二の大差で勝利を収め上々の立ち上がりを見せた。

第二試合は静岡県と対戦。

女子は、先鋒が鮮やかに二本先取し、続く次鋒も連勝し二一〇で勝利を収めた。

男子も勢いに乗りたいところである。先鋒が取られ、十将を取り返すも八将、七将と連取され三一一と静岡県に流れが傾きつつあったが、五将、四将、副将が自力を見せて取り返してチームの負けをなくした。しかし、大将がリードを守り切れず四一四で引き分けた。

第三試合は三重県と対戦。三重県は五年後に団体を控えており、選手の強化を図っているところである。その効果もあって男女とも二戦全勝で来ている。三重県を倒さなければ愛知県の優勝はない。女子は、先鋒が取られ、次鋒で返したいところであるが引き分けられる。中堅は先取するも返されて引き分け。副将で返して大将戦に望みを繋げたいところであるが、果敢に攻めるも一本も奪えず引き分けられ万事休す、愛知の

ますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしく申し上げます。

- 試合結果
- 優勝 愛知県
- 二位 静岡県
- 三位 岐阜県
- 四位 三重県

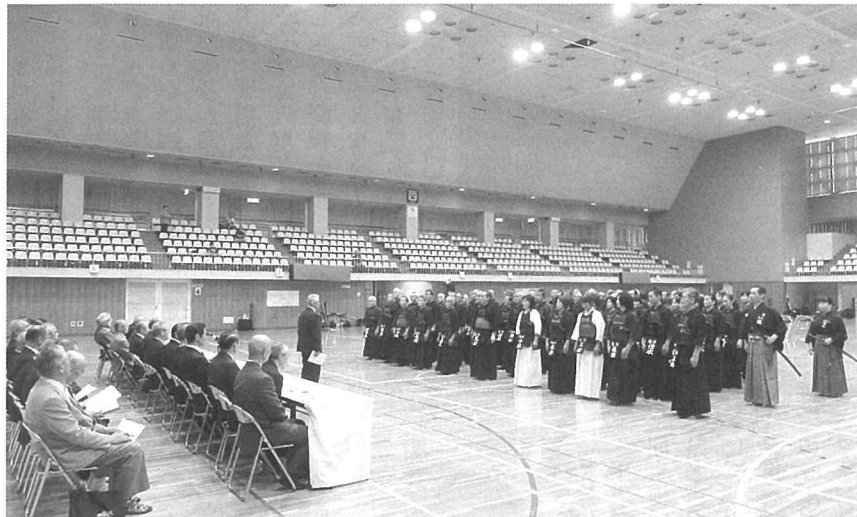


トピックス 5

中高年剣道大会

日頃の技を競い合う

大会委員長 白井 孝一



開会式の模様 挨拶される富田孝夫会長

第四回愛知県中高年剣道大会が、昨年九月二十三日秋分の日、名古屋市露橋スポーツセンターにおいて開催されました。試合は勝敗をとらない「拝見試合」です。男子は、六〇～六十四歳から五歳刻みで七十五歳以上までの四部門。女子は五〇～五十四歳、五十五～五十九歳、六〇歳以上の三部門と分けております。合計五十三組で、確かに欠席者が無かったと思います。

開会式では、上北朝也先生が、昨年、一昨年と全国高齢者剣道大会で二連覇した功績を称えられ、特別表彰ということで、富田孝夫会長より賞状と副賞が渡されました。

試合上の注意が大嶽理事長からあり、続いた試合に先立ち、居合が披露されました。立合には松岡良高先生、演武者は水野 隆先生、瀧 順一先生、木ノ本みゆき先生のいずれも教士八段の先生方でした。



富田会長より特別表彰される、上北朝也先生（左）

また剣道の立会の先生は、安倍正先生、平井道典先生、山崎 尚先生、尾野博之先生、東 一良先生、東 良美先生、祝 要司先生の八段の先生方が当られました。試合の結果、優秀試合賞は年代別につきの先生方です。（敬称略）

女子の部

- 五〇～五十四歳 小林尚美・白井雅子
- 五十五～五十九歳 東由美子・東 朱美
- 六〇歳以上 加藤美代子・永田恵三子

男子の部

- 六〇～六十九歳 田中章生・宇井幸夫
- 六十五～六十九歳 小山宗章・稲吉 悟
- 七〇～七十四歳 大崎 保・北村文弘
- 七十五歳以上 丹羽孝雄・上北朝也



試合上の注意をされる、大嶽將文先生

以下に、優秀試合賞を授与された皆さんから寄せられた所感を紹介しましょう。

西三河 白井雅子

標記大会が平成二十七年九月二十三日名古屋市露橋スポーツセンターにて開催されました。

参加資格の五〇歳を超えて初めて参加しました。昇段試験にもチャレンジしていますので、当日は審査のつもりで試合に臨みました。正面には愛知県を代表する八段の先生方が鎮座しておられ、大変緊張しました。

しかし、お相手の小林先生の胸を借りて思い切って攻めました。先生が上手に引き立てて下さり、普段以上の内容で攻めてメン、来たところをドウと決めることができました。



自分の試合が終わり、他の先生方の試合を拝見するに、有効打突の条件によるところの素晴らしい技に感動しました。それと同時に「私はまだまだだ」と反省しました。これからは先生方のような試合ができる様に努力しなければと思いました。閉会式では思いもよらず、優秀試合賞に選んでいただき、大変嬉しく感謝しています。

その上素敵なご褒美までいただきました。是非皆さまも優秀試合賞を目標に出場していただけたらと思います。

私も今回の試合を反省して日々のお稽古に精進してまいりたいと思います。有難うございます。



熱戦が繰り広げられる



北村文弘先生（左）と大崎 保先生の対戦



観戦される皆さん



試合を終えて、仲良く記念写真

東三河 小林尚美



私は、第一回の西三河、二回の東三河（台風で懇親会のみ）、三回の尾張そして四回の名古屋に参加させていただきました。

今回も前回に引き続き五〇〜五十四歳の部にて優秀試合賞をいただきとても嬉しかったです。立合いのお相手は西三河の白井さんでした。勝敗をつけない拝見試合ですが、充実した氣勢にて、思いつきり打込む事を心掛けて頑張りました。白井さんは立派な剣道をされるので、良い立合ができました。ありがとうございます。そして、この大会が有意義だと思えるのは、先生方の立合いを拝見できる事です。「気で攻めて理で打つ」を実践されていて、とても勉強になります。剣道が生涯続けられるものだと確信できます。

最後に、五回大会も元気に参加できるよう稽古を積みたと思います。賞品も良いですし（笑い）そして、より多くの女性が高年大会に参加されるのを望みます。この大会が今後も盛大に開催されるよう祈ります。

東三河 稲吉 悟



菊薫る秋分の日、標記大会の立合いをした感想を言葉にすることは非常に難しく、私なりに感じたことを列挙します。

私は常々「合気」になって稽古する様に努めています。剣の攻め、体の攻めは、どちらも「気」の攻めが伴ってはじめて攻め得ることとなり、充実した氣勢、正しく有効打突の要件そのものです。今回の立合の相手は昇段審査に挑戦されている小山先生です。私は審査のつもりで臨みました。心掛けた

ことは、「先の気持ちで攻めて我慢と捨身」で前述したような合気になって攻めきると言うことです。優秀試合賞を頂けたのは、お相手くださった小山先生のお陰とおっしゃいます。まだまだ私の課題は沢山あります。先生方のご指導を頂き、これからも目標を持って歳を重ねてもなお生涯剣道ができるよう健康管理にも留意し、剣道を通じ人間陶冶に努めていく所存です。

尾張 小山宗章



高齢者と呼ばれる年齢になり、自由時間を手にした私達元氣な剣道仲間、昼となく夜となく各所に集い稽古を楽しんでいます。

そんな私達にとって、本大会は大勢の方に見守られる中、緊張感をもって日頃の修行の成果を披露する貴重な機会です。このような大会を企画して頂いた愛知県剣道連盟に感

謝しております。今回は名手、稲吉悟先生と立合うことができ、おまけに優秀試合賞まで頂戴しました。有難いことです。半世紀以上も昔、恩師永田兼一先生から「剣道は品と凄味が大切」と教わりました。私には近づくことさえ難しい究極の課題ですが、生涯私の頭を離れることのない大切な教えです。

この度、少しお誉めに預かったことに大いに気をよくして、品と凄味にはほど遠くても、せめて「あの人と稽古したい」と思ってもらえる剣道を目指し、ますます稽古に励みます。



特集 ①

剣道を正しく伝承するには

理事長座談会

出席者（敬称略）

- 理事長 大嶽將文
- 尾張 松本利幸
- 名古屋市 尾野博之
- 西三河 堀山健治
- 東三河 白井孝一
- 尾南地区 平原 稔
- （事務局・広報委員）
- 白石裕章 副委員長
- 大崎 保 委員



司会（平原理事長・広報委員長）

今日は、新年早々大嶽理事長はじめ、各地区の理事長さん方にご参集いただき、理事長座談会を開催させて頂きたいと思っております。

テーマは大嶽先生が理事長に就任されました、「剣道を正しく伝承」させていくために今後の我々の使命

巻頭言で「剣道を正しく伝承しようではないか」ということを申しあげました。今日はこの話題により忌憚のない話し合いが展開されるようよろしく願います。

司会

有難うございました。

さて、いきなり厳しい話しをしますが、昨年の世界大会でも、全日本選手権大会でも鏢競り合いの問題がクローズアップしています。試合・審判規則の中で鏢競り合いの解釈が変わりましたが、規則が変わったわけではありません。

大嶽先生も、これから県連として、審判講習会を通じて検証をしていこうと考えられております。そこで審判の判断のやり方、試合指導について、議論をして行きたいと思っております。

ご意見をお聞かせ下さい。

松本理事長

尾張では、審判講習会を重要な課題として考えています。昇段審査会



や日本剣道形（以下、形）の講習に出てくれる人々を対象に講習会を開いています。ところが、この指導



者が充分な指導ができていないとは言い難い状況にあります。そこで、しっかり年間計画に入れてやっていくわけですが、出席要請のあった人たちは必ず出て、学んでいただきたいと思います。

司会
審判講習会は年に何回やるのですか？

松本理事長
年二回ですが、少ないと思っています。特に審判講習を受けていない人が審判しますと、(誤審のためか)父兄から色々意見がでますし、クレームも出ます。

白井理事長



東三河では、三月に女子部と少年部の指導者講習会を行っています。方法ですが、特に中学・高校、女性の指導者が中心です。ほぼ三試合場

堀山理事長

西三河では、去年の例で言いますと、十一月に指導者講習会審判法(参加者五二名)と四月に女子部審判法講習会(参加者三五名)を行って



います。しかし、参加してほしい指導者の出席が少ないという問題があります。特に中学校の先生方の出席が少ないですね。中学校の大会では、ひどい判定が目立ちます。生徒が疑問を持ち、いやになりますね。かわいそうです。先生方にはもつともつと勉強してほしいです。

司会

具体的な指導のやり方をもう少し議論させてください。

平原理事長

大学生の場合には、審判員だけでなく、学生も入れて講習する形を採っています。一緒の場面でやりますから、先生の審判技量も分かるし、

に分けて、主に中学生が選手になって試合を行い、審判を行ってもらい、その判定の内容を試合場の中で評価しあうやり方です。
また、月の第四土曜日には、東三河剣道連盟の稽古会を行っており、十四時から十七時ですが、最初の一時半に木刀による剣道形、日本剣道形を行っています。その後、基本技、立合、地稽古等を行っています。各地区の指導者が中心になって参加しています。



反則の取り方なども両者が理解できて効果があると思います。

堀山理事長

審判員と学生が、有効打突の基準など共通した理解のもとに大会を行うことに意義があるという考えのもとにやっています。

平原理事長

指導者と学生が一緒に座ってやる。高校生以上なら理解できるのではないかと思います。今年尾南では、高校生を集めて指導し、その後稽古会を行う。高校生同士の稽古が少ないので、合同稽古会をやりたいと考えています。

司会

罫迫り合いの関係について、どうか意見ありませんか？

尾野理事長

昨年の全日本選手権大会で罫せり合いの場面をテレビで見ている、なぜ反則を取らないのかと疑問に感じるのは私だけではないと思います。私が思うに、講習会では審判法に關してテーマを決めてやること。所作事も入れるとほやけて徹底できな

尾野理事長

名古屋では、年二回指導者講習会を行っています。講師は八段の先生方です。もう十七回目になりますね。



参加者は、平均的に七〇名程度。市内の道場、高体連、中体連の指導者層ですが、問題は案内をするのが、出て来られる先生方は毎回同じ顔ぶれの人たちということ。講習内容が、本当に伝わっているのか



い問題もあります。指導普及委員会の立場で言えば、試合・審判規則の第一条の目的を遂行することが大事なんです。つまり、試合者は公明正大に試合をする。審判員は適正公平に審判することを徹底していきたくて考えています。
(注：第一条全日本剣道連盟の剣道試合につき、剣の理法を全うしつつ、公明正大に試合し、適正公平に審判することを目的とする。)

堀山理事長

全剣連の講習会に参加した時の話ですが、試合者に技を指定して行わせず、それを審判が判定し、皆さんで統一見解を見出すことをやりました。同様に試合の中で反則をやらせて、その良し悪しを判断するのも一つの方法かと思っています。

尾野理事長

昔の話ですが、わざと反則を作ったりすると、大先生から、もつと真剣にやれ！(一同、笑い)なんて怒られましたね。
そこが難しい所かな。

大嶽理事長

(全剣連の講習で)五年目になる

疑問。事あるごとに意識しているんですがねえ。

白井理事長

東三河も同じように、審判をする人の中には、経験不足のある人もいたり、あまり講習会を受けていない人が審判をやることになってしまっています。審判規則の改正点を詳しく知らない審判員もたまにはいます。

平原理事長



尾南では、正直言って県の方から八段の先生に来て頂いて、年一回の講習会しかやっていません。これではマズイので、この四月からは、五段以下の人たちに集まって行います。なぜ五段以下ということですが、中体連の大会などは三段位の先生が審判をやるんですが、判定の見極めが出来ないんですね。早速四月初めの日曜日に低段者の講習会を行います。

のかなあ。堀山先生が言われた、試合の前にすり上げ技を表・裏と二本ずつやらせて判定をしてみる。一人の審判員が表示しなかったとする。その理由を尋ねてみる。玄妙な技があります。ところが、小学生でも中学生でもとってもらえない。その見極めが大事でこういうやり方を各地区でやってみてはどうですか？

大嶽理事長

東三河の大会に行っていますが、技の見極めができていない様ですね。一人の審判員が表示しているのに、他の二人は知らんぷり。主役はあくまで子どもです。子どもは、なぜとってくれないのか、と疑問に持たしますよ。肩を打たれて、負けたりしていますね。第十二条の条件を子供たちは良く知っています。素朴な事を言っていますよ。当たっていないのに取られたと。こういう場面は沢山あるように思います。

このあたりの説明をしっかりとやらないと、「剣道なんかおかし」と言ってしまう。後のケアをやらないと優秀な子はやめてしまう。こういう事はあってはならない事です。皆さんには、各地区の審判

員のレベルをしっかりと上げて欲しいので、中身のある講習会にして欲しいと思います。

司会

初心者がやめない様にするための議論に入りましょう。どなたか？

松本理事長

尾張の中でも江南なんかは地元の学校のレベルが高いものがあります。各道場では子ども達のために稽古場を作って欲しいと言っています。小学生は指導できますが、中学生になると顧問が剣道をしていないと、稽古相手がいけないという問題が出ています。

平原理事長

中体連、高体連の所に我々は中々入っていきません。審判講習会を中学校の先生方がやって欲しい。結果的に負けてしまうと、「何だ！あんな審判」と言って生徒は止めてしまう。学校の独自の動きもあり、学校側に中々入っていきません。審判講習会に出た者を審判にする数が増え不足してしまうおそれがあります。

大嶽理事長

東三河では、中学校の大会に、地区の先生方が審判しているよね



しかし、だんだん子ども達が少なくなっておりますね。

尾南全体では、県大会前に個人の成績の良いのを集めて強化練習を行っている所です。ただ指導者はまっさらのボランティアです。できれば交通費程度は出したいのですが。

松本理事長

中学校での指導では責任問題が出てくることを考えておく必要があります。

白井理事長

以前は中学校の先生が中心で審判していました。その中には剣道の経験がない人も加わっていました。ちょっとだけ剣道をかじった人がやってきました。今では東三河剣道連盟事務局に審判依頼がくれば派遣します。試合場が四面であれば、一面二名として八名派遣する。これは三〇〇四年前からやっていますが、経費は東三河剣道連盟が負担しています。このおかげで、大会では誤審がほぼ無くなってきています。

司会

地区毎のジュニアの指導のやり方は？

白井理事長

小学校では剣道教室等があるけれども、中学校に入学した時に剣道の部活動が無い学校があります。逆に、剣道部しか無い学校もあります。

松本理事長

校長先生の判断で部ができたり、できなかったりしている中学校もあるようです。顧問がいけないとやりませんね。柔道と剣道を比べた場合に、顧問がいけない問題は剣道の方が多い

のではないのでしょうか。

司会

中学生は大事な時期です。たしかに中学校の中には剣道部が無い所があります。中学校の受け入れ体制が問題なのかも知れません。

尾野理事長

名古屋には道場が多くありますが、そこに集まる小学生をどのように指導するのか、しかし市剣連としては中々入っていけない所があります。そこで各道場の指導者を指導するように努力をしているのですがね。

中学生については小中体連の代表者と呼んで、指導を行っています。ジュニア強化では年七回はやったかな。市剣連が入ってやっているのは年四〜五回。県武道館に二〇〇〜三〇〇名は集まります。アリーナを使っている。今は試合を想定した指導も取り入れてやっております。指導には内田信之先生（洗心道場）や田村彰浩先生（武徳館剣道教室）の協力を得て、とにかく手を変え品を替えてやっている所です。

に熱心な指導者がみえます。地元豊田でも合同稽古会を行いレベルが上がっています。西三河剣連としては各地区から選抜して中学生一五〇人を集め、七月から十一月まで月一回の強化練習を五回行っています。五回目には個人試合を行い、意識を高めています。そしてこの強化練習について参加者にアンケート調査を行い、次の強化に向けてフィードバックさせています。

また、中でも西尾地区はトップレベルにあります。この西尾の生徒と練習をすることにより、他の地区の生徒達は刺激を受けて、効果大でしょう。これには助成金なども出して奨励しています。

平原理事長

尾南地区では、知多市の例ですが毎月第二、第四の土曜日の休みを利用して、ジュニア剣道教室を開催しています。基本を重視して、木刀による基本技稽古法、日本剣道形。試合が近くなれば試合練習、その中でどうすれば勝てるか、指導者が工夫してやっております。十二月末には近郊の中学校男女十五校程度、約二〇〇名を集めて親善を兼ねた小大会を開催しています。生徒が審判しま

ます。この問題はやってみないと分からない。

平原理事長

高校生もOBが来たり、またOBがある里に帰ってきて稽古をやっていますが、これも無償だし、逆に差し入れなんかしていますね。

白井理事長

高校の場合には部活動コーチ制度があり、認められれば指導者が派遣され、手当も出ます。ヨットやボート、マンドリンクラブなどの部活はコーチとして認められている例があります。

白石副委員長

名古屋市では一年間を通して県大会まで引率できるシステムを作り、特別公務員の身分を保証されている所もあります。

司会

愛知県では、中学生の初段の登録数が全国一位という結果になっております。そこでもう少し「初段者等、初心者をやめさせない」件について話し合いませんか？

大嶽先生が言われました、おかしな判定で試合に負けた、その時のケアをきちんとやっていかないとそれ

が不信感になり、やめてしまう。各指導者が、剣道はどういうものなのか？技術的なものなのか？寄り添ってサポートするものなのか？上から目線でやってはいけないと思います。一歩下がって対応するのがいいのか。

大嶽理事長

私は今、蒲郡市にある中高一貫の学校で剣道を教えていますが、皆注目しているんですね。

まず礼法からキチツとはじめます。道場に入る時の礼、相手に対する礼など、人を敬うことからやっています。試合には負けませんが、強くするための教育ではありませんから。もう九年間になりますか、卒業までには二段を取得できるまで指導しています。特別の理由で退寮する者以外は、まだ誰も剣道をやめていません。試合には勝てなくても、基本を見るとすぐうちの生徒ということ

が判ります。

今の時代はほめて育てないとダメですね。人の前で怒った後にケアをしてやると全然良くなります。それを弱い人によってはダメです。強い人を注意して後でケアするのが良いようです。

司会

親御さんは、子どもに試合に勝つ事を教えてくれ、とこう来ます。

試合に勝たせることも大切ですが、父兄には剣道をやる意味を理解させることが大事なことですね。

松本理事長

親御さんの中には、その日に一つでもいいので、褒めて欲しい、と言ってくる人もいます。子どもは、父や母から色々言ってくれるな、と思っているんですね。中には陰に隠れてゴツンとやっている親もみえます。あんな事は良くないなあ。親御さんの教育もしなければなりませんね。

大嶽理事長

親御さんの眼は肥えていますからね。うちの学校に大阪とか東京から子供の親がきます。小学校で遠征とか試合とかで経験しているの、色々な物を持ってくる父兄もいたりしますが、行き過ぎる行為には気がつきませんが、行き過ぎる行為には気がつきませんが、行き過ぎる行為には気がつきませんが、全て平等でないとダメですね。

司会

高齢者剣道の活動状況ですが。

大嶽理事長

高齢者の稽古会ですが、上北先生にお願いして、五地区持ち回りの稽古会をやってもう様にお願ひしています。これらの活動が軌道に乗れば、中高年剣道大会にはもっと多くの皆さんが参加されると思います。

平原理事長

尾南でも六〇歳以上を対象に、今年度の一月九日東海市の剣道場で予定しています。

尾野理事長

名古屋は金鯱会という団体を作り、杉山盡心館を拠点にして実施しています。六〇歳以上を対象にして、月一回稽古会をやっています。現在会員は三十五名程度と聞いております。

白井理事長

豊川武道館で第二土曜日に行っています。子ども達が一〇時から稽古していますが、その隣で武道館の半面を借りてやっています。みなさん上下無く円陣を組んで挨拶しています。

松本理事長

尾張は持ち回りです。月二回。上

下関係の無くワイワイ言える雰囲気です。やっているのが良いと思いますよ。

堀山理事長

高齢者剣友会があります。稽古は第二・四木曜日の一〇時から安城の剣道場で行っています。参加者は三〇〜四〇人と盛会です。皆さん元気ですよ。

大嶽理事長

この様な高齢者剣道は県レベルでもっともっと盛んになる様になって欲しいですね。皆さんは第一、ヒマがあるでしょ、体力はある。お金があるかは分かりませんが。(一同、爆笑)また、女性も参加してくれて楽しいですね。

司会

礼法について確認をしておきたいと思います。

この件は、指導者自身が模範を示すこと。礼をする時はきちんと相手の眼を見る。終わった後も同じように相手の眼を見て下がる。指導者がやり方の見本を見せることも重要ですね。こういう姿は、親御さんにもよく理解をしてもらわなければなりません。

大嶽理事長

指導者に模範を示してもらおうのですが、正座してつける様に言っているのに、先生が立ったまま剣道用具を着けるのはダメですね。試合会場でも竹刀を跨いだり、そうする人が多く見られます。そのような先生の行為から指導しなければなりません。

司会

二世代、三世代の剣道家族の方はおりますか？

大嶽理事長

私の警察の仲間で、五段の人ですが、四人の子ども達も剣道しており、一チームつくれる、ほほえましい一家がおります。

白井理事長

東三河でも親子のチームがあります。

堀山理事長

西三河は、日本剣道形の試合を行っており、親子の部があります。参加数は少ないですが。

堀山理事長

居合の普及発展についてはいかが

でしょうか。

大嶽理事長

県連としては、試合の時に、居合の演武をしてもらい、会員を勧誘する様にして考えています。

堀山理事長

居合は普及しにくいところがある様です。子どもは居合を分らないかもしれませんね。

大嶽理事長

居合道委員会でも普及拡大を考えられています。

司会

いろいろなご意見有難うございました。時間になりましたので、この辺で終わりたいと思います。

先生方から貴重な意見を頂き、また各地区の動向、考え方が全部ではありませんが、ご理解できたのではないかと考えております。どうか持ち帰って、正しい剣道の伝承のために活動して頂きたいと思っております。本日は大変有難うございました。(文責 大崎保)

特集②

授業協力者育成講習会

文部科学省委託事業
平成二十七年年度武道等指導充実・資質向上支援事業

昨年十二月二十三日(祝・水)九時半より午後三時の間、愛知県武道館において標記講習会が開催されました。主催は全日本剣道連盟、主管が愛知県剣道連盟です。講習内容は武道等指導推進事業に関する確認、授業協力者体験発表、実技の伝達講習の三つのパターンでした。

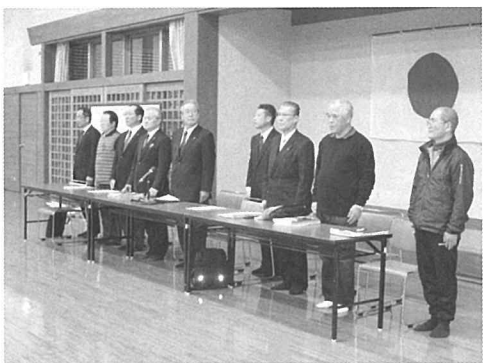
受講者は平成二十五年年度授業協力者養成講習会の参加者で、今回は九十五名が参加されました。

1. 開講式における挨拶

(1) 大嶽将文先生の挨拶(愛知県剣道連盟理事長)

剣道授業という面では全国的な流れとしては少ないけれども、いざ授業となった時のために対応できる様にしておきたいと思ひます。今日の講習会を通じて勉強して頂く様要請がありました。

(2) 長谷川恵司先生の挨拶(愛知県教育委員会保健体育スポーツ課学校体育グループ主査)



開講式の模様

「本日は各地区から多くの先生方に参加して頂きました。剣道指導者として地域においてはその存在が認識されていない様に感じます。本日の参加者は六〇歳から八八歳までの御年輩であります。今後は教育委員会等に剣道の良さを広めていくことが必要と考えます。剣道を通して立派な人間づくりのため、愛知県のためにご協力をお願いしたい。」との



受講者の皆さん



(左より) 大嶽理事長、長谷川先生、中川先生

お話がありました。

2. 武道等指導推進事業の概略

本講義の中川治彦先生は、全日本剣道連盟武道指導等推進事業剣道授業協力者養成コーディネーターの要職にあります。そこで中川先生には多忙の中、その時の講話内容に關しまして、改めて文章化して頂きました。今後我々講習生に続く、意欲のある先生方のためにもこの内容を記録に残しておくことは、極めて有効と考えます。諸先生方にはこの主旨を充分に認識され、中学生教育の参考して頂ければ幸いです。

それでは、その内容を確認して参りましょう。

(1) 講習会実施の趣旨及び経緯

文部科学省は中学校保健体育の学習指導要領を改訂し平成二十四年度から実施しています。これは、これまで中学校体育分野における運動領域が選択履修であったものを、この学習指導要領の改訂により中学校一・二年生で男女問わず全員がすべての運動領域(剣道は柔道・相撲とともに運動領域「武道」の内容の一つとして位置づけられています。)を履修することにしたものです。それにより、従来に比べ武道を実施する授業時間数は増え、さらにその武道の授業に対する指導体制の充実を図

る必要性が出てきました。文部科学省は、武道関係団体と連携することにより学校における武道等指導の充実と指導者の資質の向上を企図し、武道等指導推進事業を策定いたしました。これを受け、全日本剣道連盟（以下、全剣連）は、指導資料の作成とともに剣道授業協力者養成講習会を都道府県剣道連盟で実施することになり現在に至っています。

(2) 本県中学校の現状

体育の授業で剣道を導入している愛知県の中学校（名古屋市を除く）は約七〇％が、名古屋市立中学校では約九八％となっています。指導者については、体育の専任教員が剣道の指導に当たっています。保健体育科の教員免許状を取得した学生は、大学で全員ではありませんが一応剣道の授業を受け、剣道について理解をしてきていますが十分といえる状況ではありません。そうした中、さらに剣道を専門とする体育の専任教員は大変少ないのが現状です。

(3) 教育委員会の取組

教育委員会は保健体育科教員に対して、武道（剣道等）の専門家を招聘し、武道指導の充実及び指導者の資質向上のための講習会や段位認定講習会を実施してきています。



講話される、中川先生と講師の先生方

(4) 愛知県剣道連盟の取組

愛知県においては、中学校での授業に対して協力可能な会員を把握し授業協力者として全剣連に登録いたしました。これまでに登録された指導協力者に対して、剣道授業協力者養成講習会を、今回を含め三回実施しました。講習会の内容は、次のとおりです。

- 1 学校理解
- 2 生徒理解
- 3 授業協力者の立場と役割
- 4 学習指導要領の理解
- 5 評価について
- 6 安全指導等
- 7 授業における指導に役立つ実技内容

また、全剣連及び愛知県教育委員会からもご出席願ひ、授業協力者が支援している中学校を視察し実際の授業の様子を参観させていただきました。今回の授業参観は、本県の今後の事業への取り組みに大変参考になりました。（このことについては、今回の講習会で体験発表をしていただきます。）

(5) 今後の取組と展望

学校における学習指導は、それぞれの学校の先生方が行うのが本来の姿であると思います。そういった観点から、授業協力者はそうした体育の授業における武道指導の支援を通して、体育の先生方が剣道に対しての理解がより深められるように、また、さらに体育の先生方の剣道指導についてその指導力が一層高められるよう、機会を捉えて積極的にその育成を図って頂きたいと思えます。

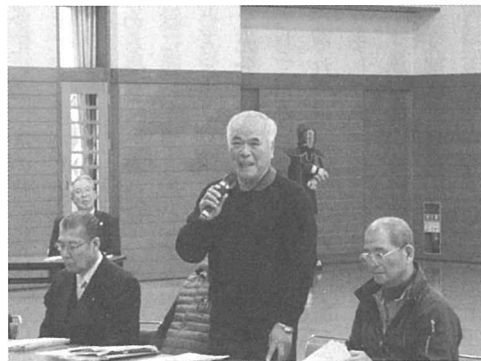
学校や教育委員会からの指導協力者要請は極めて少ないのが現状ですが、学校からの要請があればいつでも対応できるよう体制を整えてまいりたいと思えます。

会員の皆様の本事業への一層のご理解とご協力を頂きながら、今後も学校における剣道の充実を目指し取り組んでまいります。

3. 体験発表

体験発表は、鶴見好三先生、杉山英二先生、奥地嘉明先生の順位で興味あるお話しをして頂き、総括のアドバイスを田村彰浩先生にして頂きました。

鶴見先生からは、既に昨年の観眼（第三九号9頁12ページ 特集中学校「武道等指導推進事業」実施状況）で紹介がされておりですが、今回はその記述され内容に基づいて実演して下さいました。

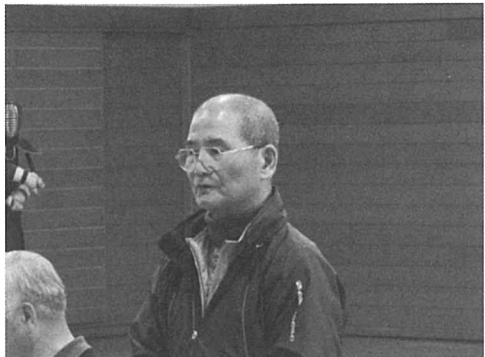


体験発表される、杉山先生

聴講の皆さん興味津々でありました。この時の模様は後述します。

杉山先生からは近くの中学校で指導を始めて三年目になるといいます。一時限は礼式、二時限目は足運び。今

年は中心線を引いて二人を向き合わせて、礼をして三歩前進・躊躇。木の形の様に、正面打ちをさせましたが、みなついてきてくれるのですね。



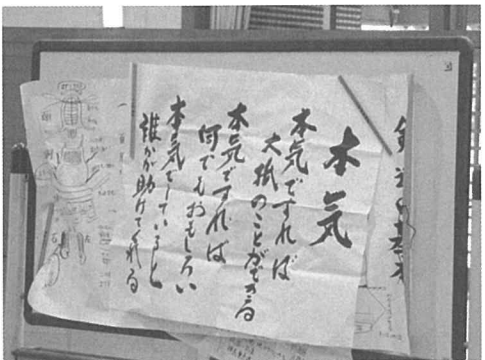
体験発表される、奥地先生

奥地先生からは、（自身の話として）この様な授業をさせて頂いた事に感謝している事の所感。女性の先生が体育系の先生で動きが活発なんです。剣道を教えて欲しいというこの先生曰く、九時間目には試合をさせてくれ、と言っています。礼式などは何回もやると、引き締まってきましたね。ここの教頭先生がその状況を見に来られた時に生徒たちがあまり真剣にやるので、驚いておられました。また授業の中には外国籍の生

徒もいるので、文化・習慣の違いもあり、生徒どうし仲良くさせることも大切ですね。

さて、鶴見好三先生の授業は？ちよつと長くなりますがその話をしてみましよう。

- ①人間は生まれてから三年目、小学六年生、中学一〜三年生のこの時期に基礎となる「骨」ができます。解剖学ではこの時期に骨に刺激を与えて土台をつくるのが大切と説きます。骨に刺激を与えるには、剣道が一番だ。体力を付けるにはまず骨をつくるのですよ！と呼びかけた。
- ②授業時間は、年に一〇〜一三時間しかない。まず剣道の歴史を教える。木刀を見せる、居合等を見せる、最後に真剣・日本刀をみせると、「オォー」と声を出しますよ。偽物と本物の区別を説明するのです。
- ③授業時間は五〇分。時計のセットは四五分としておく。防具を付けるのに一〇分・片付けに一〇分。中身は三〇分で、オーバーすれば叱られる。基本を教える時には、型紙を使う。大きな声を出せ！という場面では、例えば良くないが、痴漢にであった時、喧嘩の時に出す声だ！と教えるのです。教師との連絡を密にやることも必要。年に八〜九クラスを教



本気度の話に、皆感動！

も大事で、加齢臭は自分では分からないが、他で判る。臭いに敏感なので香水なんか使っても良い。

今年百鬼先生が視察に見えました。この時女の先生でしたが、指導する我々はおしゃべりすぎてはダメ。

最後に、メッセージです。人生観そのもので、本気にすれば大概の事はできる。本気でやれば何でもおもしろい。本気でしていると誰かが助けてくれる。（盛大な拍手）

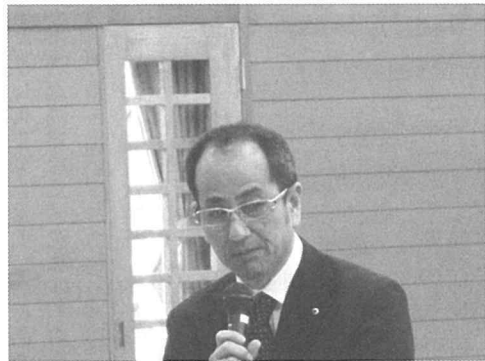
田村先生からは、自らの経験豊富な指導結果も踏まえて総括コメントをされました。

- ①三人の先生方のご苦労が良く分かります。
- ②剣道を理解させるために、作法・



熱弁を振られる、鶴見先生

えるが、どの組に何を教えたか、指導ノートにとっておく。また、剣道部員をうまく使う。ハンドマイク（二三〇〇円）も有効だ。身だしなみ



アドバイザーの田村先生

心法に関する事を教える。竹刀、木刀、真剣を見せながら興味を持つような話もしてあげる。

③男女の構成という面では、男子か女子か、男女共修が良いのか、それによって内容が変わる。色んな生徒がいるので、先生に情報を入れておくと良い。担当の先生の指導もお願いしたい。予めプリントをわたしておくのも手だ。余談だが、職員の前で紹介、離任式の際、全校生徒の前で紹介等がある場合がある。

④その他、生徒の前でのたばこには注意が必要。学校のルールを知っておくこと。感想文や手紙をもらいそれらも参考にすると良いと思う。



質疑も活発に

4. 実技研修

尾野博之先生、杉浦雅人先生の指導により、中身の濃い、しかもやっていて楽しい実技研修を行いました。冒頭、尾野先生から、つぎの様なお話がありました。
武道の時間は極めて短いので、よく考えてやらないといけない。皆さんには子ども達が社会に出て通用する礼法を教えて欲しい。



実技のはじめに

そのためには、先ず指導者が正しい礼法が出来るか？整列した場合指導者がそういうことができなければならぬので良く研究願いたい。
正座する時には、左座・右起を原則として、正しい座り方を教えます。相手と正対した時には目線を外さな

ないこと、両手の付き方、その際の顔の位置、礼の仕方をしっかり教える。立礼はどうか？九歩の間をとり、この時も目線を外させない。こういう



基本の訓練



遊び心も取り入れて

う礼法は何にでも通じていくので、カタチだけでなく、意味する中身を教えて頂きたい。



新聞切りに会場は、笑いどきと連携と



新聞玉を切る訓練 笑いが広がる

5. 参加者の声

福原さんからつぎの様な感想文がより寄せられました。



福原さん

古法と思いました。

新学期には剣道授業を楽しみとする生徒や不安一杯の生徒たちが入学してきます。この次世代を担う中学生のために剣道を真剣に伝えていくことが、体育教師と授業協力者の責任ある役割ではないのかと強く思いました。

6. 閉講式における、長谷川先生のコメント

今日は、この様な素晴らしい講習会が開催されていることを初めて知りました。受講された先生方には良い研修をされ、準備をされている事も分かりました。

今研修の若干のコメントをさせていただきます。

- (1) 研修会と違い、授業時間が非常に短いので、学校事情で授業時間が一〇分違うと運動量が変わる、ということを理解願いたい。
- (2) 教員の中には、初めて竹刀を握る者があり、子どもと同レベルだ。ご指導を頂く事もあり、教員の指導を担って頂く場合もある。
- (3) 防具に関して、子ども達は初めて着けます。

最初は一時間かかると思ってた下さい。それが慣れてきますと三分以内とか、早い生徒は一、二分を切る生

徒が出てきます。他方、ヒモが結べない生徒もいるので教えて欲しい。

- (4) 次はコミュニケーションのとり方です。教員との事前打ち合わせは必ずする様にして下さい。そして何を教えるか？一学年の所で行う内容は？一〇〜一三時間の間で何を教えるのか？指導計画を作り、(教員との)役割も決めておくが良いと思う。また、子どもの実態把握をしておくこと。一学年は礼儀と基本指導、二学年は試合形式にするとか。臨機応変の指導が必要です。
- (5) 武道の更なる必須化に向けて平成二十四年は、基は武道の礼作法、コミュニケーションの取り方といった点に注力しました。人間としての礼作法、思いやり、もっと命を大切にすることとか、こういう事に関して、剣道を通して教えていく。さらに技能も上げればもっと良い。体育の授業なので、各地域でおこなわれているので、地域のために協力願いたい。二〜三年前に比べると、剣道については、県レベルでは八名の指導者となり、県剣道連盟からは奥地先生を紹介して頂いた。

今後は、市町村に剣道の良さをもっともって広げていきたい。本日の先生方を含めて地域の諸先生のお

力添えを是非お願いしたい。

(文責 大崎 保)

居合道だより

居合道委員長 松岡 良高

今年の大きな出来事は、五月京都で行われた居合道八段審査で木ノ本みゆき先生が、女性として全国で四人目で、最年少で合格されました。その評価は高く全国の女性居合道愛好家に大きな夢をもたらされた事があります。

愛知県は、居合道に温かいご理解とご支援を頂いて居ります。

毎月の合同稽古会・高段者講習会・全剣連派遣の指導者講習会を開催して頂き、愛知県の居合道の発展向上を支援して頂いて居ります。

全剣連主催・愛剣連主管で、東日本居合道審査・講習会が六月にトヨタスカイホールで行われました。県下の居合道関係者のご協力を得て盛会に終了しました。

審査会では、六段三名・七段一名の合格者を出しました。

十月に開催された全日本居合道大会では、愛知県は強化して頑張りま

まず感じた事は、主催元の全剣連・愛剣連、教育委員会の先生方のこの講習会にける期待が非常に大きいということ。午前も、午後も内容の濃い講習会でした。特に礼式や礼儀の問題。剣道の礼は日常生活の中に通じる礼であること。挨拶、思いやり、感謝の気持ち、命の尊さ・大切さ等数知れないものが礼儀作法の中に含まれているということ。実技では、剣道の要素を入れた新聞切りやリズム剣道なども意欲を引き出す積

したが残念な結果でした。

居合道指導者講習会に

参加して

教士八段 滝 順一

師走に入っても暖かい日が続いていましたが、さすがにこの時期になると朝晩の寒さを感じるようになってきた。十二月十九日～二十日の二日間、にわたって栃木県の小倉 昇先生を全剣連派遣講師としてお迎えし、全日本剣道連盟居合の講習会を開催しました。

例年この時期に開催しているこの講習会に小倉先生が講師としてお越しくださいました。今年で七回目となりますが、受講生の数は今までの最多の七十八名となりました。

富田孝夫愛知県剣道連盟会長、小倉 昇先生のご挨拶をいただいた後、直ちに講習に入りました。

まず、例年と同じく、基本動作から始まりました。小倉先生の鍛え上げられた柔らかい動きには毎年驚かされます。

続いて各技の解説に入り、小倉先生の説明と木ノ本地元講師他の演武により順次説明を進めながら、一日

目で一本目から六本目、二日目に七本目から十二本目までの技理の解説をいただきました。

今年の講習会の進め方で、昨年までと大きく異なっていたのは、対面稽古に多くの時間を使ったことです。

各技の説明が終わって数回演武をした後、同じ段位の受講生同士が対面して交互に演武し、お互いを感じたことを注意し合いました。その間、小倉先生と地元講師が受講生の間を回り、さらに指導の徹底を図りました。この方法は、注意すべき個所が具体的に分かり易いと、受講生には大変好評だったと思います。

基本動作の練習中に話された「簡単な動きを本気になって行うことが大切。これが技の中に活かされてくる。」との言葉は、先生がいかにかこの練習方法を重視して、真剣に取り組んでこられたかを物語っていると

思います。受講生の講習会へ臨む真剣な気持ちの表れだと思えますが、小倉先生の説明を聞くために演武のできる隊形に広がりたりする動きが、今年は迅速で、大変良かったと思います。

また、前日の打合せ会から、二日間の講習中にわたって、常に愛知県剣道連盟の先生方、事務局長の先生

女子部だより

平成二十八年二月二十六日(出)、名古屋栄東急R E Iホテルにおいて、女子部主催の「愛知県剣道連盟女子七段昇段祝賀会」が開かれました。

この会は、平成二十二年に愛知県で初めて七段が誕生したのをきっかけに、女子部が皆でお祝いをしたいと考え始めた行事の一つです。

毎年、年度末の二月第一土曜日に行っていますが、平成二十六年度は七段昇段者が残念ななかったた



のご臨席をいただくことができ、居合道に携わる者として大変に幸せなことで、感謝せねばならないと感じました。

杖道だより

杖道委員 前田 新吾

平成二十七年十月十八日(日)、刈谷市体育館武道場において、全剣連派遣杖道講習会が釣賀敏郎教師八段を講師にお招きして開催されました。

今回から新しい試みとして、全剣連の指導により、中部地方(三重県を含む)各県にも開催の連絡をし、一日だけの講習会にも拘わらず、長野・静岡・富山・石川・三重の各県剣連から参加をいただき、総勢四十三名を数えるに至りました。

講習では、全剣連杖道の正しい普及を目指すため「全日本剣道連盟杖道(解説)及び「杖道委員会意志統一事項」について解説があり、その後、実技を実施し、熱心な指導を受けました。

県内及び他県からの参加者の熱意で、講習会は盛会裏に終えることができました。これも偏に本県剣道連

剣道七段に合格して

徹底して、クセを直す

永田 操 (西三河)



平成二十七年五月十六日枇杷島スポーツセンターにおいて剣道七段に合格することができました。そして、今の気持はと言うと「よくも合格することが出来たものだ」と言うのが実感です。勿論ここにくるまでには多くの剣友の皆様からの励ましや助言を頂いたお陰と心から感謝をしております。

六段審査の時は「もう一步」の受審結果からすぐに合格に繋げることができましたが、七段は違っていました。六段の昇段が早すぎたといえ、それまでですが「七段の力」を身に付けるまでに十年かかりました。本当に簡単ではありませんでした。

私の場合は、多くの先生方から「右手のクセを直せ」と再三指摘をさ

れていたもので、①素振り徹底的にクセを直す。②毎回の稽古を審査要領でやる。③相手と気を合せた礼法をして集中力を養う。特にこの事に心掛けて稽古を積みました。

審査の当日はすっきりした気持ちで臨みましたが、一人目の相手とは気が合わなかったのです。しかし二人目にはそれを引きずる事無く「メン、返し胴」に行き、体が自然に働いた感がありました。この審査で最後まで諦めてはいけない事も学びました。

七段合格後は、元立ちをお願いされる事が多くなりました。正直言って合格当初は、今まで通り稽古を続けられればいいと思っておりましたが、大きな間違いだと痛感させられました。これからは七段としての剣道修業だと新たに感じております。身近でいつも応援してくれた家族に心から感謝しています。

剣道のできる環境と健康な身体を喜びつつ七段としての道をしばらく続けてまいります。諸先生方、剣友の皆様、今後も気を緩めることなく進んで参りたいと思います。どうぞご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いたします。



七段審査 感謝の気持ち

成瀬 朋恵 (尾張)



平成二十七年五月、名古屋市枇杷島スポーツセンターでの七段審査会において昇段させていただきました。御指導をいただいた皆様方にお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

私は、相手の「心を読む」ということが十分ではなく、打ち急いしまう自分本位な剣道をしていました。そのため、六段審査、七段審査の際になかなか昇段することができず悩み迷う日々を送っていました。そこで、もう一度、剣道の原点にかえり、素振り、基本稽古、間の途切れない稽古を繰り返すように努めました。多数の講習会、稽古会に参加させていただくことで、不器用で未熟な私が、少しずつ相手の「心を読む」剣道を身につけていけたのではない

かと考えています。

しかし、昇段させていただきましたが、まだまだ未熟なところが多々あると感じています。これからも今まで以上に精進していく所存です。

また、今後はこれまで御指導いただいたことをもとにながら、日本の伝統文化である武道としての剣道を次世代の子どもたちに伝えていかなければならないと思っております。そのために、微力ながら、お手伝いさせていただければと思っております。

最後に、七段昇段に際しまして、ご指導いただきました先生方、先輩方、剣友の皆様方に感謝し、御礼申し上げます。また、何度も受審しては残念な結果に終わっていた時間も応援してくれた家族に感謝いたします。ありがとうございます。今後もご指導を賜りますよう、よろしくお願い致します。



実業団だより

中部地区実業団剣道連盟

事務局 神谷 光顕

中部地区実業団剣道連盟は、昭和四十二年に結成され本年度で五十年を迎えます。

偏に皆様のご指導とご協力の賜物と、厚く御礼申し上げます。

当連盟初代会長には、名古屋鉄道の故・土川元夫先生が就任し、記念すべき第一回大会では「実業人自身が剣道の良さを理解し、実業界剣道をより普及発展させるために本連盟を結成したもので、剣道の精神は道場での修練をもとに、職場で人に接し仕事に熱意を持って打ち込むことで更に修得される。実業人の一人でも多くが剣道を学び根性の精神を発揮し、職場の柱として中部経済圏の発展に、延いては我が国の文化産業発展に寄与していくことを念願する。」と述べられました。

現在では、渡並直会長、祝要司理事長のもと、団体正会員五十五社、個人会員二十七社が加盟しており、六月の中部地区実業団剣道大会及び女子剣道大会、十月の中部地区実業

道場連盟だより

研修会「師弟同行」

理事長 田村 彰大

年度に約七回程度研修会を開催しています。小学生低学年、高学年、中学生に分かれ試合を重ねます。審判は道場で指導されている先生、そして、お父さん先生、子供たちには所作、礼節、技術などを勉強していきます。

子供たちは息を抜く暇もないほど試合に挑む中、先生たちも審判として真剣勝負です。時には所作を厳しく指導したりする一方で、時には笑いもあつたりします。試合経験の少ない子供たちにも、たくさん体験



高体連だより

第2回東海高等学校 剣道選抜大会

結果報告

愛知県高体連剣道専門委員長 名古屋市立向陽高等学校

宮崎 正充

平成二十八年二月二十一日に岐阜県関市総合体育館においてみだしの大会が開催されました。ここに、本県代表校の紹介と結果をご報告いたします。

【男子】

桜丘高校(第一位代表) 準優勝
岡崎城西(第二位代表) ベスト8
杜若高校(第三位代表) ベスト16
西尾高校(第四位代表) 一回戦敗退
一宮南高校(第五位代表) 一回戦敗退
西尾東高校(第六位代表) ベスト16



名古屋大谷(第七位代表) 一回戦敗退
至学館高校(第八位代表) 一回戦敗退

【女子】

岡崎城西(第一位代表) ベスト8
三好高校(第二位代表) 第三位
一宮南高校(第三位代表) ベスト16
岡崎商業(第四位代表) ベスト16
星城高校(第五位代表) ベスト16
常滑高校(第六位代表) ベスト8
桜丘商業(第七位代表) 一回戦敗退
大同高校(第八位代表) 一回戦敗退

なお、男子桜丘、岡崎城西、女子岡崎城西、三好は、三月二十七・二十八日に、春日井市総合体育館にて開催されます、第二十五回全国高等学校剣道選抜大会に本県代表として参加します。主催していただいた剣道連盟に深く感謝し、報告させていただきます。



桜丘高校



三好高校

中体連だより

第69回愛知県中学校 総合体育大会の結果について

平成二十七年七月二十八日(火)、東海市市民体育館にて、団体男女各二十四チーム、個人男女各四十八名ずつ参加し、熱戦が繰り広げられた。結果は次の通りである。

団体戦

〈男子の部〉

- 優勝 西尾東部中学校
- (準々決勝)
- 鶴城 4-1 春日井中部
- 西尾東部 3-1 津賀田
- 布袋 2-2 代 平坂
- 柏原 3-2 額田
- (準決勝)
- 鶴城 1-2 西尾東部
- 平坂 2-2 代 柏原
- (決勝)
- 西尾東部 4-1 柏原

〈女子の部〉

- 優勝 西尾市立西尾中学校
- (準々決勝)
- 平坂 3-1 春日井中部
- 西尾東部 1-2 平洲
- 蒲郡 0-2 鶴城
- 西尾 5-0 八幡
- (準決勝)
- 平坂 3-2 平洲
- 鶴城 0-3 西尾
- (決勝)
- 平坂 2-3 西尾

※男女優勝チーム全国大会出場

個人戦

〈男子の部〉

- 優勝 大串快晴 (額田)
- 準優勝 谷口貴大 (柏原)
- 第三位 大橋正登 (津具)
- 第三位 堀田優介 (美和)
- (女子の部)
- 優勝 清家いつき (豊川西部)
- 準優勝 長田茉琴 (金屋)
- 第三位 市川結里加 (豊川西部)
- 第三位 山本千裕 (みよし北)

※男女優勝・準優勝者全国大会出場



第37回東海中学校 総合体育大会の結果について

平成二十七年八月九日(日)、十日(月)の二日間にわたり、三重県で開催され、鈴鹿市立体育館で行われた。東海地区四県それぞれから団体戦男女各八校ずつの計三十二チーム、個人戦では各県男女八名ずつの計三十二名ずつの参加となった。愛知県勢は、団体戦では、男子の部で、平坂中が準優勝、布袋、額田の二校が三位となり、西尾東部はベスト8入りを果たした。一方、女子の部は、平坂が三位となった。

また、個人戦では男子の部で大串快晴(額田)が見事優勝。谷口貴大(柏原)が準優勝になった。女子の部では、清家いつき(豊川西部)、山内美葵(福地)がベスト8となった。結果は次の通りである。

団体戦

〈男子の部〉

- (準々決勝)
- 西尾東部 (愛) 2-3 布袋 (愛)
- 陵成 (三) 4-0 神戸 (三)
- 額田 (愛) 2本-2 積志 (静)
- 平坂 (愛) 1代-1 星和 (岐)

個人戦

〈男子の部〉

- 優勝 大串快晴 (額田)
- 準優勝 谷口貴大 (柏原)
- (女子の部)
- ベスト8 清家いつき(豊川西部)
- ベスト8 山内美葵(福地)

※準々決勝以上関係分

第45回全国中学校 剣道大会の結果について

平成二十七年八月二日(土)より四日(月)にわたり、「咲き誇れ!北で夢見し絆の華よ」のスローガンのもと、全国都道府県の秋田県秋田市の秋田県立武道館に集まり、白熱した試合が随所に展開された。

わが愛知県勢は、団体および個人において、それぞれ全力を尽くした。団体の部では、男子は予選リーグ三位、女子は、予選リーグ一位で通過した。

各部門の結果は次の通りである。

団体戦

〈男子の部〉

- (予選リーグ) 三位敗退
- 西尾東部 1-3 中能登 (石川)
- 西尾東部 0-4 九州学院 (熊本)
- 中能登 0-2 九州学院
- (結果および順位)
- 西尾東部 0勝 1勝者②本 三位
- 中能登 1勝 3勝者⑤本 二位
- 九州学院 2勝 6勝者⑪本 一位
- (女子の部)
- (予選リーグ) 一位進出
- 西尾 2-2 本中田 (宮城)

個人戦

〈男子の部〉

- 西尾 2-1 柳町 (長野)
- 中田 1-3 柳町
- (結果および順位)
- 西尾 1勝 4勝者⑤本 一位
- 中田 1勝 3勝者⑤本 三位
- 柳町 1勝 4勝者④本 二位
- (決勝トーナメント)
- 一回戦惜敗
- 西尾 1-2 住吉 (大阪)

谷口(柏原) ーメ 阿部(加古川・兵庫)

〈女子の部〉

- 清家(豊川西部) メー 岩澤
- 井上(国士館・東京) メメー
- 長田(金屋) ーメメ 濱田
- (拓心・北海道)
- (文責・福島徹哉)

第10回全日本都道府県 對抗少年剣道優勝大会

桑原 淳 (柏原中学校)



トーナメントに進むことができた。決勝トーナメント一回戦、ベスト8をかけて兵庫県と対戦しましたが、直前の試合で勢いにのっていた兵庫県に、残念ながら負けてしまいました。本大会で各県の選手のレベルの高さを感じ、愛知県代表選手の優れた部分と足りていない部分がありました。愛知県の代表として立派に戦った選手達には、是非この経験をいかして、すばらしい剣道人生を歩み続けてほしいと思います。愛知県の代表監督になるというこ

快晴の空の下、第十回全日本都道府県對抗剣道優勝大会が大阪市で開催されました。大会は三県のリーグ戦で、愛知県は、青森県、高知県と同ブロックになりました。初戦の青森県には、中堅、副将、大将が勝ち、チームも勝つことができました。高知県とは引き分けとなりましたが、青森県との試合結果により、勝ち本数差で愛知県は決勝

おめでとう

山本典幸 (60) 酒井将富 (61)
小澤省治 (62) 牧野祥子 (26)
三浦千恵美 (49) 西澤くに子 (68)

剣道六段 (二十七年四月二十九日) (京都)
岩田佳恵 (34)
剣道七段 (二十七年四月三十日) (京都)
鈴木利介 (56)

剣道八段 (二十七年五月二日) (京都)
安保 正 (61)
居合道八段 (二十七年五月三日) (京都)
木ノ本みゆき (54)

剣道五段 (二十七年五月三日) (京都)
大島健太郎 (24) 権丈文生 (24)
三宅裕也 (24) 山守祐哉 (25)
日比野友輔 (25) 山崎賢人 (25)
井上翔太 (25) 山田光賢 (27)
久野太志 (30) 小松崎聖 (31)
中村将彦 (34) 松本光弘 (36)
山口賢二 (39) 宮寄信行 (43)
早津昌浩 (43) 前田博規 (44)
尾崎清和 (45) 松本 潔 (46)
小松弘典 (47) 長江通生 (49)
山口正三 (50) 鈴木康之 (51)
岩田秀樹 (52) 山本雅章 (54)
世戸口文泰 (56) 甲斐道夫 (57)
早崎正起 (59) 森本 涉 (59)

居合道五段 (二十七年五月四日) (中)
小崎徳一郎 (30) 市川幸雄 (47)
樋江井清隆 (47) 古池祥高 (56)
林美恵子 (61) 古池祥高 (56)

居合道五段 (二十七年五月四日) (中)
小崎徳一郎 (30) 市川幸雄 (47)
樋江井清隆 (47) 古池祥高 (56)
林美恵子 (61) 古池祥高 (56)

居合道五段 (二十七年五月四日) (中)
小崎徳一郎 (30) 市川幸雄 (47)
樋江井清隆 (47) 古池祥高 (56)
林美恵子 (61) 古池祥高 (56)

居合道五段 (二十七年五月四日) (中)
小崎徳一郎 (30) 市川幸雄 (47)
樋江井清隆 (47) 古池祥高 (56)
林美恵子 (61) 古池祥高 (56)

居合道五段 (二十七年五月四日) (中)
小崎徳一郎 (30) 市川幸雄 (47)
樋江井清隆 (47) 古池祥高 (56)
林美恵子 (61) 古池祥高 (56)

居合道五段 (二十七年五月四日) (中)
小崎徳一郎 (30) 市川幸雄 (47)
樋江井清隆 (47) 古池祥高 (56)
林美恵子 (61) 古池祥高 (56)

居合道五段 (二十七年五月四日) (中)
小崎徳一郎 (30) 市川幸雄 (47)
樋江井清隆 (47) 古池祥高 (56)
林美恵子 (61) 古池祥高 (56)

居合道五段 (二十七年五月四日) (中)
小崎徳一郎 (30) 市川幸雄 (47)
樋江井清隆 (47) 古池祥高 (56)
林美恵子 (61) 古池祥高 (56)

居合道五段 (二十七年五月四日) (中)
小崎徳一郎 (30) 市川幸雄 (47)
樋江井清隆 (47) 古池祥高 (56)
林美恵子 (61) 古池祥高 (56)

居合道五段 (二十七年五月四日) (中)
小崎徳一郎 (30) 市川幸雄 (47)
樋江井清隆 (47) 古池祥高 (56)
林美恵子 (61) 古池祥高 (56)

居合道五段 (二十七年五月四日) (中)
小崎徳一郎 (30) 市川幸雄 (47)
樋江井清隆 (47) 古池祥高 (56)
林美恵子 (61) 古池祥高 (56)

居合道五段 (二十七年五月四日) (中)
小崎徳一郎 (30) 市川幸雄 (47)
樋江井清隆 (47) 古池祥高 (56)
林美恵子 (61) 古池祥高 (56)

居合道五段 (二十七年五月四日) (中)
小崎徳一郎 (30) 市川幸雄 (47)
樋江井清隆 (47) 古池祥高 (56)
林美恵子 (61) 古池祥高 (56)

居合道五段 (二十七年五月四日) (中)
小崎徳一郎 (30) 市川幸雄 (47)
樋江井清隆 (47) 古池祥高 (56)
林美恵子 (61) 古池祥高 (56)

居合道五段 (二十七年五月四日) (中)
小崎徳一郎 (30) 市川幸雄 (47)
樋江井清隆 (47) 古池祥高 (56)
林美恵子 (61) 古池祥高 (56)

居合道五段 (二十七年五月四日) (中)
小崎徳一郎 (30) 市川幸雄 (47)
樋江井清隆 (47) 古池祥高 (56)
林美恵子 (61) 古池祥高 (56)

居合道五段 (二十七年五月四日) (中)
小崎徳一郎 (30) 市川幸雄 (47)
樋江井清隆 (47) 古池祥高 (56)
林美恵子 (61) 古池祥高 (56)

居合道五段 (二十七年五月四日) (中)
小崎徳一郎 (30) 市川幸雄 (47)
樋江井清隆 (47) 古池祥高 (56)
林美恵子 (61) 古池祥高 (56)

杖道教士 (二十七年五月六日) (京都)
小島六男 (66)

剣道錬士 (二十七年五月六日) (京都)
吉原辰之進 (33)
小野敏史 (35) 清水俊雄 (38)
松本 進 (45) 尾崎哲雄 (46)
吉田繁敬 (46) 戎 光徳 (49)
大仲良仁 (49) 中郡友昭 (50)
柴田智広 (51) 渡邊真吾 (51)
田村彰浩 (51) 野澤芳美 (54)
石田哲也 (55) 眞野隆雄 (60)
後藤 孝 (63) 平野 肇 (67)
吉原弥生 (29)

剣道七段 (二十七年五月十六日) (枇杷島)
富松利浩 (37) 今道基弘 (38)
臼井伸成 (40) 桑原明洋 (46)
森園昭俊 (48) 青木久志 (54)
大田正彦 (55) 三浦康郎 (59)

剣道七段 (二十七年五月十六日) (枇杷島)
富松利浩 (37) 今道基弘 (38)
臼井伸成 (40) 桑原明洋 (46)
森園昭俊 (48) 青木久志 (54)
大田正彦 (55) 三浦康郎 (59)

剣道七段 (二十七年五月十六日) (枇杷島)
富松利浩 (37) 今道基弘 (38)
臼井伸成 (40) 桑原明洋 (46)
森園昭俊 (48) 青木久志 (54)
大田正彦 (55) 三浦康郎 (59)

剣道七段 (二十七年五月十六日) (枇杷島)
富松利浩 (37) 今道基弘 (38)
臼井伸成 (40) 桑原明洋 (46)
森園昭俊 (48) 青木久志 (54)
大田正彦 (55) 三浦康郎 (59)

剣道七段 (二十七年五月十六日) (枇杷島)
富松利浩 (37) 今道基弘 (38)
臼井伸成 (40) 桑原明洋 (46)
森園昭俊 (48) 青木久志 (54)
大田正彦 (55) 三浦康郎 (59)

剣道七段 (二十七年五月十六日) (枇杷島)
富松利浩 (37) 今道基弘 (38)
臼井伸成 (40) 桑原明洋 (46)
森園昭俊 (48) 青木久志 (54)
大田正彦 (55) 三浦康郎 (59)

剣道七段 (二十七年五月十六日) (枇杷島)
富松利浩 (37) 今道基弘 (38)
臼井伸成 (40) 桑原明洋 (46)
森園昭俊 (48) 青木久志 (54)
大田正彦 (55) 三浦康郎 (59)

剣道七段 (二十七年五月十六日) (枇杷島)
富松利浩 (37) 今道基弘 (38)
臼井伸成 (40) 桑原明洋 (46)
森園昭俊 (48) 青木久志 (54)
大田正彦 (55) 三浦康郎 (59)

剣道七段 (二十七年五月十六日) (枇杷島)
富松利浩 (37) 今道基弘 (38)
臼井伸成 (40) 桑原明洋 (46)
森園昭俊 (48) 青木久志 (54)
大田正彦 (55) 三浦康郎 (59)

剣道七段 (二十七年五月十六日) (枇杷島)
富松利浩 (37) 今道基弘 (38)
臼井伸成 (40) 桑原明洋 (46)
森園昭俊 (48) 青木久志 (54)
大田正彦 (55) 三浦康郎 (59)

剣道七段 (二十七年五月十六日) (枇杷島)
富松利浩 (37) 今道基弘 (38)
臼井伸成 (40) 桑原明洋 (46)
森園昭俊 (48) 青木久志 (54)
大田正彦 (55) 三浦康郎 (59)

剣道七段 (二十七年五月十六日) (枇杷島)
富松利浩 (37) 今道基弘 (38)
臼井伸成 (40) 桑原明洋 (46)
森園昭俊 (48) 青木久志 (54)
大田正彦 (55) 三浦康郎 (59)

剣道七段 (二十七年五月十六日) (枇杷島)
富松利浩 (37) 今道基弘 (38)
臼井伸成 (40) 桑原明洋 (46)
森園昭俊 (48) 青木久志 (54)
大田正彦 (55) 三浦康郎 (59)

剣道七段 (二十七年五月十六日) (枇杷島)
富松利浩 (37) 今道基弘 (38)
臼井伸成 (40) 桑原明洋 (46)
森園昭俊 (48) 青木久志 (54)
大田正彦 (55) 三浦康郎 (59)

剣道七段 (二十七年五月十六日) (枇杷島)
富松利浩 (37) 今道基弘 (38)
臼井伸成 (40) 桑原明洋 (46)
森園昭俊 (48) 青木久志 (54)
大田正彦 (55) 三浦康郎 (59)

剣道七段 (二十七年五月十六日) (枇杷島)
富松利浩 (37) 今道基弘 (38)
臼井伸成 (40) 桑原明洋 (46)
森園昭俊 (48) 青木久志 (54)
大田正彦 (55) 三浦康郎 (59)

剣道七段 (二十七年五月十六日) (枇杷島)
富松利浩 (37) 今道基弘 (38)
臼井伸成 (40) 桑原明洋 (46)
森園昭俊 (48) 青木久志 (54)
大田正彦 (55) 三浦康郎 (59)

剣道七段 (二十七年五月十六日) (枇杷島)
富松利浩 (37) 今道基弘 (38)
臼井伸成 (40) 桑原明洋 (46)
森園昭俊 (48) 青木久志 (54)
大田正彦 (55) 三浦康郎 (59)

吉田耕一 (61) 黒木正人 (62)
三矢和彦 (63) 鈴木栄一 (64)
神宮数見 (72) 成瀬朋恵 (47)
永田 操 (64)

奥川隆史 (29) 日置康紀 (30)
曾木祐寿 (32) 赤根広昇 (33)
今津 斉 (34) 三浦澄夫 (35)
鈴木章博 (39) 柘植祐一 (39)
稲吉道雄 (39) 平野俊輔 (41)
中村誠士 (42) 大平直樹 (42)
鈴木宏明 (43) 久米 隆 (46)
梅村知弘 (47) 岩越伸智 (51)
杉江広幸 (51) 樫 智久 (52)
奥野徹哉 (53) 恒川敏明 (54)
奥田浩史 (54) 小松弘昌 (56)
上田欣也 (57) 伊藤隆仁 (58)
青木秀成 (63) 石川香苗 (35)
富田仁美 (40) 小口宏美 (52)
杉山悦子 (65)

居合道六段 (二十七年六月二十六日) (豊田)
池田美千子 (65) 渡會道子 (55)
山下みさ子 (69)

居合道七段 (二十七年六月二十六日) (豊田)
竹内 修 (68)

剣道五段 (二十七年八月二日) (東)
近藤勝登喜 (71)

渡辺 聖 (24) 河合 進 (26)
村上健太 (28) 石原健太 (28)
笹内一志 (29) 高須隼人 (31)
安田雅大 (32) 宇津木悟 (32)
天野賢太郎 (37) 田口健太郎 (37)
山口秀則 (39) 高野浩樹 (41)
浅井英之 (41) 安藤彰人 (41)
鈴木昭次 (42) 熊谷慎也 (42)
青柳 伸 (43) 井村春之 (44)
日比康詞 (45) 山下 淳 (45)
政元括律 (49) 薄木嘉雄 (53)
小林勇治 (53) 鈴木祥公 (54)
井上雅之 (55) 白井良典 (56)
関屋英徳 (58) 平山 豊 (63)
大石藍子 (25) 土屋 梢 (26)
日永田弥生 (40) 中根徳子 (47)
加藤優子 (65)

居合道五段 (二十七年八月十六日) (豊橋)
村林直行 (59) 川合文一郎 (60)

剣道六段 (二十七年八月二十三日) (仙台)
石原光貴 (42)

剣道六段 (二十七年八月二十三日) (沖縄)
近藤祐介 (29)

剣道七段 (二十七年八月二十九日) (福岡)
近藤勝登喜 (71)

剣道六段 (二十七年八月三十日) (東)
近藤勝登喜 (71)

鈴木貴章 (33) 伊藤 博 (39) (福岡)
眞部岳英 (51)

居合道五段 (二十七年十月四日) (中)
小崎徳一郎 (30) 市川幸雄 (47)
樋江井清隆 (47) 古池祥高 (56)
林美恵子 (61) 古池祥高 (56)

居合道五段 (二十七年十一月十四日) (枇杷島)
梅本拓人 (28) 岡田和浩 (29)
内田勝也 (29) 野村卓也 (30)
近藤大希 (32) 菅野博文 (33)
宮本 大 (34) 川喜田嘉哉 (36)
清水隆司 (37) 渡邊真和 (38)
福田真也 (39) 神谷泰隆 (43)
戸田実鶴 (46) 大島 剛 (46)
中根正道 (46) 野依康人 (46)
成瀬文浩 (47) 大原康伸 (47)
水野充良 (48) 野崎誠二 (50)
山田 敦 (51) 浜崎克也 (51)
柴田保司 (52) 駒田淳一 (53)

長谷川善久 (54) 高田貴史 (54)
藤森忠浩 (54) 松尾 武 (55)
川田秀幸 (57) 高柳利水 (66)
下見義勝 (76) 野々山智絵 (30)
西地治美 (43) 竹内幸子 (48)

居合道五段 (二十七年十一月二十三日) (岡崎)
久米育彬 (24) 佐々木富弥 (24)
今泉一紀 (24) 金田匡嗣 (25)
服部篤紀 (25) 西尾亮平 (25)
中島 翼 (25) 浅野陽介 (30)
下野達也 (31) 後藤正成 (33)
古島尚典 (33) 久田春樹 (35)
川口 漫 (38) 松永直樹 (40)
高橋 聡 (40) 坂本和俊 (40)
金沢 純 (41) 丹羽加央瑠 (45)
肥田良作 (45) 鈴木竜生 (47)
小西勝治 (47) 山本政広 (47)
西村顕広 (49) 堀井 明 (49)
古川祐志 (50) 大谷英樹 (51)
藤原基治 (52) 磯部裕紀夫 (57)
鈴木忠俊 (58) 坂元雄一 (58)
浅倉靖雄 (61) 矢野麻美 (27)
浅野喜子 (29) 竹内裕子 (36)
加藤直世 (45)

剣道七段 (日本武道館) (二十七年十一月二十五日)
下村直樹 (50)

剣道教士(二十七年十一月二十五日)

- 加藤 幹(39) 真城 進(46)
- 馬場 隆(47) 三宅和寿(48)
- 永尾孝広(48) 関 守雅(48)
- 芝山博樹(49) 吉田正幸(50)
- 山田 樹(51) 松下修二(51)
- 駒瀬敏彦(52) 鈴木秀明(54)
- 長谷川光広(58) 都築和弘(59)
- 廣國憲治(60) 黒木俊男(61)
- 原田民治(61) 脇谷延雄(63)
- 村井安輔(63) 黒柳義雄(72)
- 三鍋洋太郎(75)

居合道錬士

(二十七年十一月二十五日)(東京)

高木 茂(51) 寺西春男(65)

居合道五段(二十八年一月十七日)

(岩倉)

川上翔平(30) 林由佳理(30)

山本公一(45) 古橋五月(59)

早崎正起(59) 宮島 修(65)

青山由美子(67)

杖道五段(二十八年二月二十一日)

(中)

山梨浩樹(49) 若松宗弘(53)

剣道錬士(二十七年十一月二十五日)

(東京)

- 日置章統(33) 秋永和馬(33)
- 平松俊祐(33) 酒井佑記(35)
- 永田陽平(36) 仙波快之(37)
- 小林祐輔(39) 小出士朗(43)
- 安井和幸(44) 松田英之(45)
- 菅谷正則(47) 永田 徹(49)
- 古賀祐樹(49) 清水 靖(49)
- 壇原和則(50) 深見知弘(51)
- 大谷宜生(52) 杉村英治(54)
- 可児 寿(55) 滝藤若康(56)
- 今泉重紀(56) 星野和夫(57)
- 平野晴義(58) 木村吉男(59)
- 小澤由治(62) 小栗淳弘(64)
- 相良宜伸(67) 山本昌生(68)
- 種村喬行(74) 岩元江理子(39)



地区だより

【尾張剣道連盟】

審判講習について

事務局長 吉原 辰美

平成二十七年、新執行部により最初の重点項目として、審判の質の向上が挙げられました。

過去の講習会では、六段以上と五段以下に分けて、形講習から、審判講習、剣道を離れて健康管理から居合の刀法に至るまで多様な講習会が行ってききましたが、やはり剣道の大会(小学生から大人まで)を行う上で審判の重要性を再認識し、地区から県までできるだけレベルの差をなくして行こう、との見解で一致しました。県が公認審判の見直しをする中、尾張もこれに倣いレベルのアップを図ろうとするものです。幸い尾張地区には全剣連の講習を受けられた八段の先生が多数在籍しておられ、その八段の先生方を講師としてお願いし、少しでも高度な審判法を身に付けてほしいとの執行部の願いです。

本年度は最初ということもあり、

従来通りの六段以上、五段以下との区分けはそのままにし、六五歳以下で、審判を行う方はどちらかの講習会を必ず受けなければいけないとなりました。

講師は県の審査委員長の祝要司副理事長や穂園元孝先生・北村真一先生と錚々たる教士八段の先生方に依頼をし、九月二十六日と十月十八日に行いました。審判法の講話に始まり、試合者と審判に分かれ、予定時間を大幅に延長する熱の籠った指導・講習を頂きました。

講習の翌日六地区の大会があり、審判講習の成果は目を見張るばかりでした。

この講習は年間の行事とし、これに加え初〜三段の形講習・審査会に形講師として参加する先生方には、形講師要員講習会の参加を義務付け、講習参加者から、講師として委嘱をさせていただくというものです。

ただ一回ですが、成果は見事に出できております。

【名古屋市剣道連盟】

事務局長 古賀 萬須美

名古屋の春季少年(小学生)剣道大会(兼県予選)が、去る二月十一日に露橋スポーツセンターで開催されました。市内より四十四道場の選手が参加。昨年入賞の四チームをシードとし、抽選にて対戦相手を決しました。

試合は、まず四または五チームによる予選リーグを行い、各リーグ二位までが決勝トーナメントに進出する方式で行いました。名古屋より十六チームが代表として三月二十一日の県大会への出場しました。その中で、武徳館剣道教室が見事優勝し、千代が丘剣道教室が準優勝、三位に東丘少年剣友会が入賞しました。誠に喜ばしい限りです。各道場でご指導される先生方におかれましては大変なご苦労があったかと思えます。今後ともご指導のほどよろしくお願いたします。ただ残念なことに、中学生の部が〇々しくなかったことで、今後なお一層の強化が必要と思われまます。

同月十四日一年ぶりに指導者講習会が開かれました。市内各道場、各

中学校の指導者、顧問の先生方九十七名、総勢二一七名が枇杷島スポーツセンターに集まりました。



挨拶される尾野理事長

尾野理事長の挨拶の後、山崎、安保両講師による審判法が行われました。最初に講義があり、その後、中学生による模擬試合による審判実技を行いました。初めて審判する受講者もいて、緊張の中にも和気藹々と進んでいきました。審判員の入場、旗の表示と宣告、試合者の動きを先取りした位置取り、有効打突の判定等詳細にわたり指導がありました。午後からは、平井、安保両講師、尾野理事長を交えての「木刀による剣道基本技稽古法」の実習を行いました。



審判法で説明される山崎先生

た。昨年度より、級受審時の木刀審査の種目を変更したので、受講の先



廻り稽古の様子

第六十二回西三河少年剣道大会
平成二十八年一月三十日(土) スカイホール豊田に於いて第六十二回西三河少年剣道大会を開催し、小学生の部(六十四チーム)・中学生男子の部(六十チーム)・中学生女子の部(五十六チーム)計 百八十チーム参加により全てのチームが日ごろ練磨された成果を出しきる大会で選手、選手家族、指導者の気持がひとつとなつて熱のこもった試合が展開されました。三月二十一日に開催される愛知県少年剣道大会の出場権を勝ち取る為にも必勝をかけた一試合一試合でした。
過去三年間参加チーム数も増加し

っており嬉しい限りです。この先も少年、少女の育成に剣道連盟総力で取り組んでまいります。

第十四回西三河剣道祭・高段者大会

平成二十八年三月十三日(日) 高浜市体育センターに於いて、剣道祭を開催し愛知県剣道連盟会長富田孝夫様・高浜市長吉岡初浩様他多くのご来賓のご臨席をいただく事が出来ました。



西三河剣道祭・高段者大会

平成二十七年に県大会以上の試合成績優秀な選手六十二名の選手に年間の優秀選手賞として記念品を授与いたしました。また、高段者大会では、剣道五段以上一〇九人・居合道七名の一一六名の参加を得て拝見試合を披露し、「学びと交流」の立ち合いとなりました。

自分の立ち合いが終わりますと会場内あちこちでお互いにたたえ合うほのほのとした姿が終了まで見受けられました。大会後の稽古会では優秀選手を含め参加者全員で稽古会を一時間行い剣道祭大会の幕を閉じました。

西三河高齢者剣友会のご紹介

当連盟には、高齢者剣友会があり、毎月二回の定例稽古会を開いています。二十七年度は一回あたりの平均参加者数は三九名(前年三六名)でした。

会員は六〇歳以上とし、現在の会員数は五十五名登録されています。夏季には合宿稽古会も行われ澆刺としての人生を楽しんでおられ健康のため、仲間づくりのためなど、向上心の勢いには凄いものがありその効果の証拠があります。それは、平成二十七年にこの中から、四名の七段

【尾南地区剣道連盟】

第十回メデイライフ杯尾南マスターズ剣道大会

広報委員長 若月 徹

平成二十七年十月二十五日(日)、東海市の新日鉄住金体育館において、第十回メデイライフ杯尾南マスターズ剣道大会が盛大に開催されました。



各年代 優勝者の皆さん

本大会は毎年秋に開催されますが、今回は十年目の節目に当たる記念大会となり、来賓として愛知県剣道連盟富田孝夫会長、同大嶽將文理理事長をはじめ、県内各地区から代表して

高段者の先生方をお招きしました。開会式の冒頭で、ご後援いただいた

ている医療法人メデイライフ理事の阿部麻子さんに尾南地区剣道連盟北村豊会長より長年の感謝を込めて感謝状と記念品が贈呈されました。阿部さんは本連盟に対して長年の大会運営に感謝を述べるとともに「生涯剣道として剣道が続けることで健康維持・増進しましょうと始めた大会です。剣道は息の長いスポーツで八十歳代になってもできることなので今回は参加できませんが是非復帰して参加したい。」と述べられました。大会では三十歳以上の年代別に十一のブロックに分けられ、それぞれトーナメント戦により試合が行われました。例年より多い百四十九名の選手が和気あいあいとした雰囲気の中で日頃の鍛錬の成果を競いました。また男子七十歳以上の部および招待選手の拝見試合が行われ、凛とした気迫と見事な剣さばきに眼を見張りました。

大会後、体育館の隣の公園クラブで記念祝賀会が開かれ、安部秀利副会長の乾杯の発声により始まり、八十人を超える選手が来賓、招待者の先生方が祝杯を交わし、盛会のうちに記念大会を締めくくりました。

剣道・居合道・杖道

平成26年7月1日(改定)

段・級	審査料	登録料
8 ~ 2 級	1,000円	2,000円
1 級	1,100円	2,600円
初 段	2,000円	5,300円
式 段	2,200円	6,300円
参 段	3,100円	9,200円
四 段	3,900円	11,300円
五 段	4,900円	17,500円
六 段	11,300円	38,300円
七 段	14,400円	61,800円
八 段	17,500円	90,000円
称 号		
錬 士	17,900円	50,400円
教 士	25,700円	72,000円
範 士		105,000円

※審査日前日までに満七十歳になった方は、登録料半額。
※一級受験に際し、加盟金(終身)五、〇〇〇円を納入して、愛知県剣道連盟に加盟しなればならない。



西三河高齢者剣友会の皆さん

合格者を出しておられます。今後も無理なく、怪我なく、楽しく、いつも若々しく活動して孫たち(幼少年)の育成にも頑張っていたきたいと思います。



さて、東三河剣道連盟では、生涯剣道を目指す中高年が集い稽古ができる環境が整いつつあり、東三河の地域ごとに工夫して更なる質の高い剣道を目指して稽古を行っています。連盟としてもサポートして、より良い方向へ進むよう考えていきたいと思えます。

終わりに、これからも剣道を愛する皆様方にお役に立てるよう、一生懸命頑張っていく所存です。

【東三河剣道連盟】

事務局長 稲吉 悟

平成二十七年六月六日(土) 豊橋総合体育館において、東三河最大級の試合である東三河武徳際を開催したところ、九百数十名の参加者がありました。この試合は各部門に別れてすべてが個人戦です。

そこで大変なのが、トーナメント表の作成と審判依頼です。一つの試合会場に審判主任を含む七名を配置し、十試合会場で行います。審判をお願いして返事を頂き、審判割りを作成するまでに費やす時間が多くかかり、なかなか返事をもらえないのが現状です。なるべく早く返信頂けるよう切望します。

剣 AICHI

NEW
 【各種要項】に以下の審査会要項を掲載いたしました。
 ・剣道七段および六段審査会(愛知)要項
 ・剣道六段審査会(東京)要項
 ・剣道七段審査会(東京)要項
 ・剣道八段審査会(東京)要項

【大会結果】に以下の大会結果を掲載いたしました。
 ・六団体対抗剣道大会
 【審査結果】に以下の審査会合格者を掲載いたしました。
 ・居合道講習及び審査会(H26/1/19)4段・5段合格者

【各種要項】に以下の審査会要項を掲載いたしました。
 ・居合道六段および七段審査会(東京)

【審査結果】に以下の審査会合格者を掲載いたしました。
 ・居合道六段および七段審査会(岡山)
 ・剣道四・五段審査会(北)

【大会結果】に以下の大会結果を掲載いたしました。
 ・愛知県居合道段別選手権大会
 ・愛知県女子剣道段別選手権大会

リンク
 審査結果
 大会結果
 各種要項
 事務局連絡
 事業計画
 連盟紹介

一般財団法人
愛知県剣道連盟

<http://www.aichi-kendo.jp/>

愛知県剣道連盟ホームページ案内

現在、各大会及び審査会の要項は、約二ヶ月前には当連盟ホームページに掲載しております。また大会申込書以外にも、審査会申込書、加盟(入会)手続書がダウンロード出来るようになりましたので、必要な方は各種要項のページにあります剣道、居合道、杖道のタブよりご確認ください。

大会結果、審査結果等は出来るだけ早い段階で掲載するよう努めておりますが、多少のお時間を要する場合がございますので何卒ご了承ください。

なお、全日本剣道連盟主催の大会結果や、審査会(六、七、八段、称号審査会)の合格者につきましては、全剣連ホームページに掲載後、当連盟ホームページに掲載いたします。

全剣連のホームページは当連盟のリンクページ、関連団体タブよりご確認ください。

また岐阜剣連、三重剣連、静岡剣連ホームページへのリンクも

当連盟ホームページへのアクセスは「愛知県剣道連盟」で検索していただくか、上記アドレスを直接入力して下さい。

全剣連のホームページは当連盟のリンクページ、関連団体タブよりご確認ください。

また岐阜剣連、三重剣連、静岡剣連ホームページへのリンクも

五地区剣道連盟所在地

尾張剣道連盟	理事長 松本利幸 〒491-0903 一宮市八幡4-1-28 一宮市武道館内	事務局長 吉原辰美 TEL 0586-43-1023 FAX同じ
名古屋市剣道連盟	理事長 尾野博之 〒454-0022 名古屋市中川区露橋1-31-20 富士見ビル2-G	事務局長 古賀萬須美 TEL 052-361-8073 FAX同じ
西三河剣道連盟	理事長 堀山健治 〒471-0813 豊田市野見山町3-78-14 手嶋様方	事務局長 手嶋道雄 TEL 0565-89-3274 FAX同じ
東三河剣道連盟	理事長 白井孝一 〒443-0104 蒲郡市形原町下市18-1	事務局長 稲吉悟 TEL 0533-57-6061 FAX同じ
尾南地区剣道連盟	理事長 平原稔 〒479-0862 常滑市小倉町5-48 山田様方	事務局長 山田政晴 TEL 0569-42-3895 FAX同じ

中日新聞社

成績の持参またはファックス先は以下の通りです。

◇本社(名古屋市中区3の丸1ノ6ノ1)
 FAX 052(201)4331
 問い合わせは 電話 052(221)0793

◇豊橋支局(豊橋市八町通3ノ91)
 FAX 0532(54)4655
 ◇岡崎支局(岡崎市東明大寺町16ノ18)
 FAX 0564(25)1554
 ◇豊田支局(豊田市美山町3ノ34ノ34)
 FAX 0565(25)1118

◇一宮支局(一宮市大江1ノ13ノ13)
 FAX 0586(72)5035
 ◇半田支局(半田市出口町1ノ45ノ18)
 FAX 0569(23)2372
 ◇春日井支局(春日井市鳥居松町3ノ60)
 FAX 0568(81)2797

読売新聞社

FAX 052(211)1085
 取材に来てくれることもありますので、先ず一報を

訃報

坂田平七郎先生(享年九十三歳)
 平成二十七年十一月二十七日逝去
 剣道教士七段 県連盟相談役

平成28年度事業計画

一般財団法人 愛知県剣道連盟

Table with columns: 全剣連・県剣連・地区剣連その他行事, 場 所, 時間. Rows 1-31 listing events from 8月 to 31日.

Table with columns: 全剣連・県剣連・地区剣連その他行事, 場 所, 時間. Rows 1-31 listing events from 9月 to 31日.

Table with columns: 全剣連・県剣連・地区剣連その他行事, 場 所, 時間. Rows 1-31 listing events from 10月 to 31日.

Table with columns: 全剣連・県剣連・地区剣連その他行事, 場 所, 時間. Rows 1-31 listing events from 11月 to 31日.

備考 ●全剣連 ○全剣連関与 ▲県連 △県連関与 ※その他 *日程、会場の変更もありますので、必ず開催要項を確認下さい。

2

平成28年度事業計画

一般財団法人 愛知県剣道連盟

Table with columns: 全剣連・県剣連・地区剣連その他行事, 場 所, 時間. Rows 1-31 listing events from 4月 to 31日.

Table with columns: 全剣連・県剣連・地区剣連その他行事, 場 所, 時間. Rows 1-31 listing events from 5月 to 31日.

Table with columns: 全剣連・県剣連・地区剣連その他行事, 場 所, 時間. Rows 1-31 listing events from 6月 to 31日.

Table with columns: 全剣連・県剣連・地区剣連その他行事, 場 所, 時間. Rows 1-31 listing events from 7月 to 31日.

備考 ●全剣連 ○全剣連関与 ▲県連 △県連関与 ※その他 *日程、会場の変更もありますので、必ず開催要項を確認下さい。

1

平成28年度事業計画

一般財団法人 愛知県剣道連盟

12月			
全剣連・県剣連・地区剣連その他行事	場 所	時間	
1 木			
2 金			
3 土	▲県剣連稽古納め (剣・居・杖)	日本ガイシ第2・3	
4 日			
5 月	▲剣道合同稽古会	枇杷島	19:00
6 火			
7 水			
8 木			
9 金			
10 土			
11 日	△28年度県エポーツ少年剣道交流大会	新日曜体育館	
12 月			
13 火			
14 水	▲監査		
15 木			
16 金			
17 土	※第24回東海学連剣道大会	東	
18 日			
19 月	▲剣道合同稽古会	枇杷島	19:00
20 火			
21 水			
22 木			
23 金			
24 土	▲居合道指導者講習会 (全剣連24・25日)	東	
25 日			
26 月			
27 火			
28 水			
29 木			
30 金			
31 土			

1月			
全剣連・県剣連・地区剣連その他行事	場 所	時間	
1 日			
2 月			
3 火			
4 水			
5 木			
6 金			
7 土			
8 日			
9 月	▲県剣連稽古始め (剣・居・杖)	枇杷島	10:00
10 火			
11 水			
12 木			
13 金	●杖道六・七段審査会	東京都	
14 土	●杖道地区講習会 (14・15日)	東京都	
	※各北支那部高校1年生剣道大会	枇杷島	
	※各南支那部高校1年生剣道大会	中	
15 日	▲剣道称号審査会	日本ガイシ第3	9:30
	▲居合道講習及び審査会 (級～五段)	岩倉総合	10:00
16 月	▲剣道合同稽古会	枇杷島	19:00
17 火			
18 水			
19 木			
20 金			
21 土			
22 日			
23 月			
24 火			
25 水			
26 木			
27 金			
28 土	▲居合道・杖道合同稽古会	露橋	13:00
	※第17回高校名南北剣道選手権大会	枇杷島	
29 日			
30 月			
31 火			

2月			
全剣連・県剣連・地区剣連その他行事	場 所	時間	
1 水			
2 木			
3 金			
4 土	▲東海地区剣道合同稽古会	枇杷島	15:00
5 日	※第61回中部日本剣道大会	西尾総体	
6 月	▲剣道合同稽古会	枇杷島	19:00
7 火			
8 水			
9 木			
10 金			
11 土	※愛知県商業系高等学校体育大会剣道大会	中	
12 日			
13 月			
14 火			
15 水			
16 木			
17 金			
18 土			
19 日	▲杖道講習及び審査会 (級～五段)	中	10:00
	※第3回東海高等学校剣道選抜大会	岐阜県関市	
20 月	▲剣道合同稽古会	枇杷島	19:00
21 火			
22 水			
23 木			
24 金			
25 土	▲居合道・杖道合同稽古会	露橋	13:00
26 日			
27 月	※第37回まこと少年少女剣道大会	知立市福社特報館	9:00
28 火			
29 水			
30 木			
31 金			

3月			
全剣連・県剣連・地区剣連その他行事	場 所	時間	
1 水			
2 木			
3 金			
4 土	○第20回全日本業業団女子・高社生剣道大会 ▲東海地区剣道合同稽古会	東京武道館 岐阜県	
5 日	△第62回東海四県対抗剣道大会 △第47回東海四県対抗居合道大会	岐阜県 ◇	
6 月	▲剣道合同稽古会	枇杷島	19:00
7 火	△愛知県女子剣道稽古会	日本ガイシ第3	10:00
8 水			
9 木			
10 金			
11 土	▲理事会・評議員会		
12 日	※第55回東海私立大学剣道選手権大会	日本ガイシ第2	
13 月			
14 火			
15 水			
16 木			
17 金			
18 土			
19 日			
20 月	▲第48回愛知県春季少年剣道大会	露橋	
21 火			
22 水			
23 木			
24 金			
25 土	○第39回全国小学生少年剣道大会(55-57回) ▲居合道・杖道合同稽古会	愛知県武道館 日本ガイシ第3	13:00
26 日			
27 月	○第26回全愛知高等学校剣道選手権大会(27・28日)	春日井市総体	
28 火			
29 水			
30 木			
31 金			

備考 ●全剣連 ○全剣連関与 ▲県連 △県連関与 ※その他 *日程、会場の変更もありますので、必ず開催要項を確認下さい。
各古原…毎月第2月曜日・第4月曜日(19:00) 露橋 尾形…毎月第1火曜日(19:00) 東海市体育館
各地区自主練習開催日 西三河…毎月第1日曜日(19:00) 東三河…毎月第4土曜日(14:00) 豊橋市武道館 ※5、8、12、月を除く

広報「観の眼」第四〇号

平成二十八年七月十五日発行

一般財団法人 **愛知県剣道連盟**

〒453-0035

名古屋市中村区十王町十一番

二十二号

電話 〇五〇五〇四八二〇〇九三

FAX 〇五〇四八一〇〇九五

題字・故竹田弘太郎名誉会長